

教材集

令和5年 1月 (第1版)

川崎市立田島支援学校

目次

【国語】	2
【算数】【数学】	26
【音楽】	50
【図工】【美術】	70
【体育】【保健体育】	88
【その他（自立活動・総合的な学習の時間・家庭・社会）】	108

補足

【本校の教育課程について】

○A課程…肢体教育部門

○B課程…知的教育部門

【小学部の学習グループ等について】

○小学部 B 課程では 1, 2 年生、3, 4 年生、5, 6 年生の 3 学年に分かれて、各教科の学習を行っている。毎朝の体づくり運動や、遠足では合同で学習や行事を行っている。

【中学部の学習グループ等について】

○音楽、体育、美術の 3 教科では、個々の習熟度に応じた学習できるようにしている。学習指導要領の各段階に照らしあわせて実態を把握し、グループ編成を行い小グループ（体育：2グループ、音楽・美術3グループ）で学習を行っている。

A グループ		B グループ		C グループ	
小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階	小学部 3 段階	小学部 3 段階	小学部 3 段階

【さくら分教室の学習グループ等について】

○音楽での習熟度別グループは、2グループに分けて学習している。リズム打ちや、技術面の習得を目指すグループと、教員の支援を受けて、教員の模倣や自由演奏などを中心にしたグループの2つに分かれて学習を行っている。

【高等部の学習グループ等について】

○1 年次 習熟度別学習グループ編成

Aグループ…Ⅲコースに相当

Bグループ…Ⅳコースに相当

Cグループ…ⅣⅤコースに相当

○2, 3 年次 卒業後の生活を見据えたコース制

〈A課程〉

Iコース…個別課題(自立活動)を充実

IIコース…自立活動、教科学習を充実

〈B課程〉

IIIコース…「生活を充実させるための個別課題」を充実

IVコース…「生活を自立させるための基礎基本」の定着

Vコース…「就労・就労移行に向けての教育」を充実

國語

小学部・中学部 A 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 いっしょにあそぼう 』	国語	小学部/A 課程/4 年生

【教材のねらい】

・ふれあい遊びで、特定の人と関わっていることを感じたり、触覚からの刺激を味わったりする。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部 | 段階/知識及び技能/イ(イ)】

・教員とのふれあい遊びの経験を積み重ねる。

思考・判断・表現【小学部 | 段階/A 聞くこと・話すこと/イ】

・教員が発する言葉のリズムや雰囲気に関心し、身振りや表情などで表出する。

学びに向かう力・人間性【小学部 | 段階/学びに向かう力、人間性等/ウ】

・身体が揺れたことに気付き、表情を変化させたり、身体を動かそうとしたりする。



「きゅうりができた」
 パッパッパ
 ずりずり
 トントん
 ムシャムシャ など…

【素材・作り方等】

〈他にふれあい遊びで活用する曲一覧〉

- ・バスにのって
- ・ぐるぐる洗濯機
- ・なっとうネバネバ

【教材等の紹介：使い方例】

・ふれあい遊びの歌詞にリンクして、手のひらや指先の動きを変えるようにする。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 ボールどこかな? 』	国語	小学部/A 課程/6年生

【教材のねらい】

- ・「左・右・上・前」のそれぞれの言葉を聞き、該当する方向に手を伸ばす。空間認知と言葉の一致を図る。
- ・持っただけでは鳴らないが、振ると「カタカタ」と鳴り、音を頼りにしても探すことができるようにしている。(※視力が低い児童が対象。)

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部 2 段階/知識及び技能/ア(ウ)】

- ・具体物に触れながら「右・左・前・上」の方向と名称を確認する。

思考・判断・表現【小学部 2 段階/A 聞くこと・話すこと/イ】

- ・ボールがある位置の説明を聞き、その方向に手を伸ばすことができる。

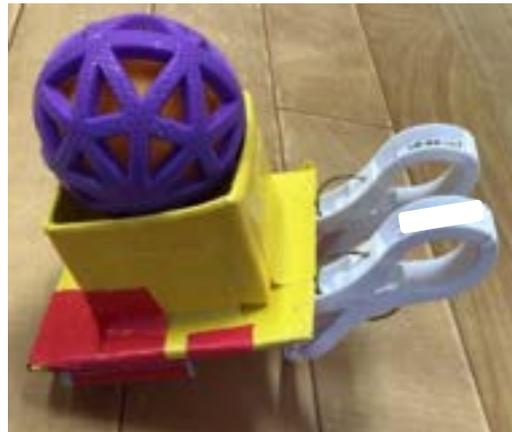
学びに向かう力・人間性【小学部 2 段階/学びに向かう力、人間性等/ウ】

- ・言葉を聞き、意欲的に行動で応えようとしている。



中にボールが入っていて、振ると素材同士がぶつかる音が小さく鳴る。

車いす用机に付けられる手作りボール置き場。コップ置き場にもなる。



【音の鳴るボール】

【素材・作り方等】

- ・ボール下部がはまり、児童が取り出しやすい大きさに段ボールを組み立て、テープで補強します。
- ・車いす机にはさむことができる大きさの洗濯ばさみを段ボールの底にテープで貼り付けます。2つ付けると安定します。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・車いすの机にボール置き場を各方向設置しておきます。
- ・音が鳴らないように(どこに置いたかわからないように)ボールを置き、「(方向)に、ボールがあります」と言葉かけをします。手が伸びない場合はボールを振り、音を頼りに探すことができるようにします。
- ・右、左、上、前をランダムに出題します。

國語

小学部・中学部 B 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『なまえをおぼえよう』	国語	中学部/B課程/2年生

【教材のねらい】

- ・自分の名前がひらがなで表せることを知る。
- ・自分の名前のひらがなを覚えることができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部Ⅰ段階/ア/(ア)】

自分の名前のひらがなを覚えることができる。

思考・判断・表現【小学部Ⅰ段階/B書くこと/ア】

見本の文字（ひらがなの名前）と同じように文字を並べることができる。

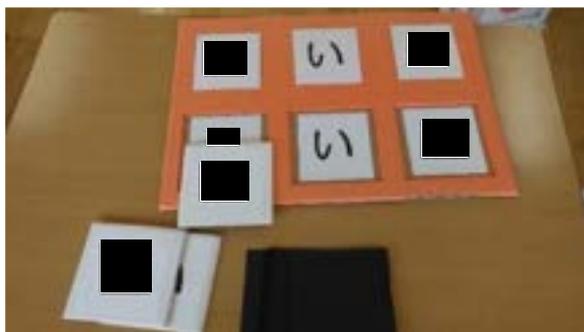
学びに向かう力・人間性等【小学部Ⅰ段階/ウ】

なまえを並べる学習に取り組むことができる。

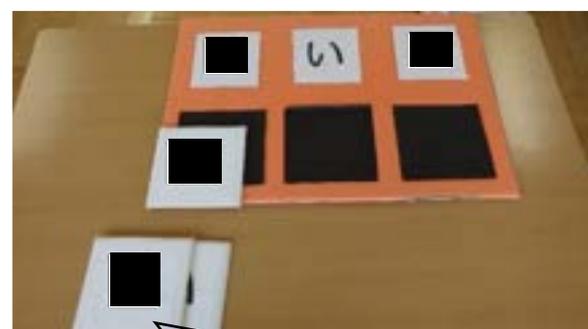
①



②



③



④



【 名前の並び替えをしよう 】

【素材・作り方等】

- ・A4サイズの段ボール2枚を用意します。1枚はカードのサイズに合わせてくり抜き、2枚を合わせて貼り付けます。
- ・中の見本の字とカードの字は印刷した紙を張り付けて、最後にブックカバーで表面を補強しています。

【教材等の紹介：使い方例】

- ①石膏タイルに、文字が書かれています。
- ②石膏タイルが、四角の型にはめ込むことができます。
- ③見本の文字を見ながらマッチングをします。
- ④見本の文字を隠すこともできます。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 どこにある? 』	国語	小学部/B課程/4年生

【教材のねらい】

- ・写真と場所の一致
- ・写真の場所に物を取りに行く

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部Ⅰ段階/A(ア)】

- ・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる。

思考・判断・表現等【小学部Ⅰ段階/A 聞くこと・話すこと/イ】

- ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。

学びに向かう力・人間性等【小学部Ⅰ段階/ウ】

- ・言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。



【 ここはどこでしょうカード 】

【素材・作り方等】

- ・教室内（水道やロッカーなど）や教室外（図書室や体育館など）に児童が好きな物（おもちゃなど）を設置して写真を撮ります。
- ・破れないようにラミネートなどで補強をします。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・児童に「ここはどこでしょうカード」を見せて、その写真の場所へ具体物を取りに行くようにした。
- ・児童が自席に戻ってきたら、机の上に持ってきた具体物を置いて少し遊ぶようにした。
- ・写真の場所へ取りに行くことで、写真の場所と実際の場所でマッチングすることができる。
- ・カードを提示する際に具体的な場所を言葉で伝えることで、場所とその場所の名前の一致にも繋げた。

単元名	教科等	学部／課程／学年・学習グループ等
『 どこにある？ 』	国語	小学部/B課程/4年生

【教材のねらい】

- ・言葉と場所の一致
- ・同じ場所の異なる写真のマッチング

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小1段階/ア(ア)】

- ・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる。

思考・判断・表現等【小1段階/A聞くこと・話すこと/イ】

- ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。

学びに向かう力・人間性等【小1段階/ウ】

- ・言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。



【 場所の分類 】

【素材・作り方等】

- ・子どもの好きな活動場所を、様々な時間や角度から撮影します。
- ・分類しやすいように、箱や厚紙などで枠を作ります。
- ・枠に見本の写真を貼り付けてそれを手掛かりに分類ができるようにします。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・同じ活動場所同士を仲間分けする。
- ・場所と場所の名称の一致ができるように、教員が場所の名称を伝えながら取り組む。
- ・同じ場所でも時間帯や、角度によって見え方が異なることをイメージできる。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『線を書いてみよう』	国語科	小学部/B課程/3年生

【教材のねらい】

・興味のあるキャラクターを使うことで注目を促し運筆の課題に取り組む。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小1段階/イ(ウ)㊦】

・いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ること。

思考・判断・表現【小1段階/B書くこと/イ】

・文字に興味をもち、書こうとすること。

学びに向かう力人間性【小1段階/ウ】

・言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。



【アンパンマンと線を書こう】

【素材・作り方等】

・磁石のペンで描けるお絵描きボードをの上にパネルを○△□などの形にくりぬいた物を置く。

【教材等の紹介:使い方例】

・付属のペンを溝に入れて書く(運筆)。

・書き終わった後は枠を外して自分の書いた線や形を確認する。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 平仮名のマッピング 』	国語	小学部/B 課程/2 年生

【教材のねらい】

- ・キャラクターや文字をヒントに、同じ文字のカードをマッピングする。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部Ⅰ段階/知識及び技能/イ(イ)】

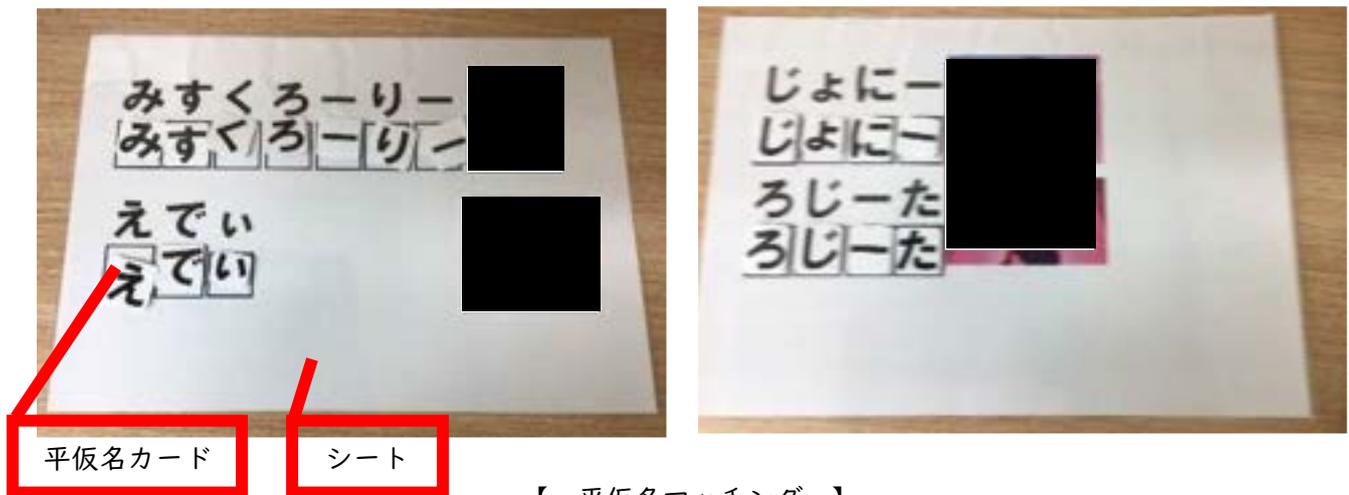
- ・平仮名を見て、平仮名カードのマッピングをすることができたか。

思考・判断・表現【小学部Ⅰ段階/C 読むこと/A】

- ・イラストや写真を見て、そこに示された平仮名に注目することができたか。

学びに向かう力、人間性【小学部Ⅰ段階/学びに向かう力、人間性等/ウ】

- ・教員の言葉に合わせ、教員と一緒に指を差すことができたか。



【素材・作り方等】

- ・ヒントになるイラストや写真と、その名称の平仮名を並べて Word でシートを作成します。平仮名の下には□(四角の枠)も入れ、カードが貼りやすいようにします。
- ・1文字ずつの平仮名カードを作成します。答えになる文字だけでなく、形が似ているダミーの平仮名カードも何枚か用意します。
- ・シートも平仮名カードもラミネートをして補強します。シートの□(四角の枠)部分と平仮名カード裏にはマジックテープを付け、何度も取り組むことができるようにします。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・シートの写真やイラスト、文字をヒントに、該当する平仮名カードを貼っていきます。
- ・異なる平仮名カードを貼った場合には教員がその部分を指さして伝え、児童自身で考え直し、貼り直すよう促します。
- ・単語が出来上がったら、教員が1文字ずつ指さし、音声で確認します。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『文字カードづくり』	国語	中学部/B 課程/2年生

【教材のねらい】

・日常で使うひらがなを理解する。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小2段階/ア/(ウ)】

・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。

思考・判断・表現【小2段階/B 書くこと/イ】

・自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすること。

学びに向かう力人間性【小2段階/ウ】

・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。



【文字のマッピングシート】

【素材・作り方等】

- ・パネルをでひらがなカードを作成し、カードを抜いたパネルを土台にする。
- ・見本カードも単語とイラストを載せてパネルに貼り付ける。

【教材等の紹介:使い方例】

・見本カードを見ながらひらがなカードを並べ単語を構成する。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 ひらがなチップ 』	国語	小学部/B 課程/6 年生

【教材のねらい】

- ・五十音順に並んだ中から、ひらがなを探す。
- ・マグネットで貼ることで、乱雑にならない。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部 2 段階/A/ (イ)】

- ・日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。

思考・判断・表現【小学部 1 段階/A 数と計算/A (イ)】

- ・自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり書いたりすること。

学びに向かう力・人間性【小学部 1 段階/A 数量の基礎/ (ウ)】

- ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。



【 ひらがなチップ 】

【素材・作り方等】

- ・ラミネートしたひらがなカードにマグネットを貼り付ける
- ・イラスト付き単語カードも同様に作成する。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・クリアケースに五十音順にマグネット付き平仮名チップを数枚入れられるようにする。
- ・イラスト付き単語カードを参考にしながら単語を並べられるようにする。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『名前を覚えよう』	国語	小学部/B 課程/6 年生

【教材のねらい】

・身近な友だちの名前(名詞)を知る。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小2段階/ア/(ウ)】

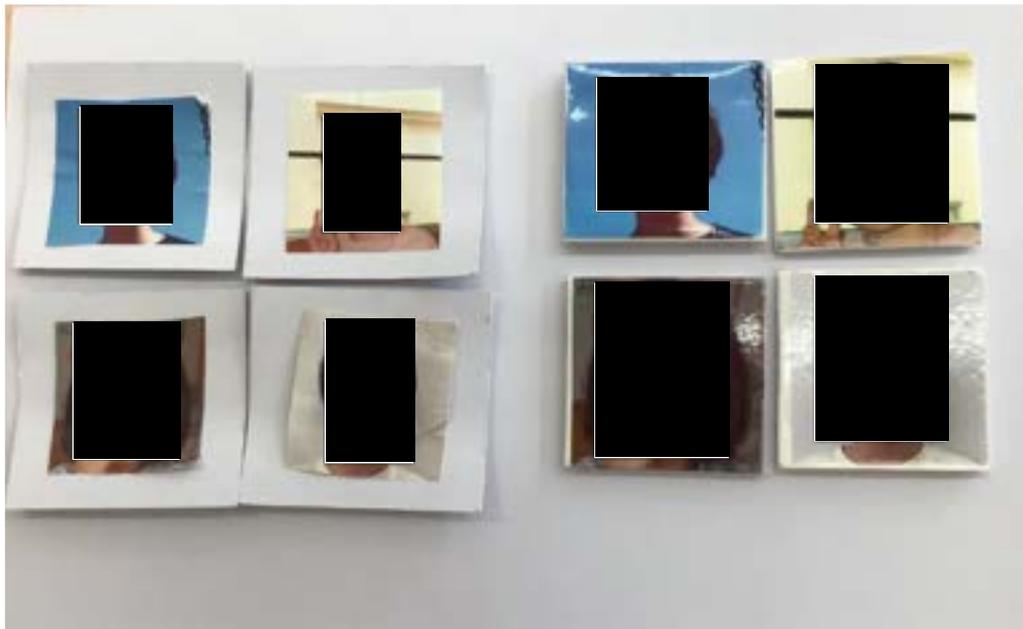
・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。

思考・判断・表現【小2段階/A 聞くこと・話すこと/イ】

・簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。

学びに向かう力人間性【小2段階/ウ】

・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。



【クラスの友達の顔写真】

【素材・作り方等】

・パネルで写真カードを2セット作成する。

【教材等の紹介:使い方例】

・教員が顔写真を提示しながら名称を音声言語で伝え同じ顔写真を選ぶ。

・選ぶ写真の数を2枚(本人と友達1人)→3枚(本人、友達2人)→友達2枚→友達3枚 などのように少しずつ難しくしていく。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『カタカナを読もう』	国語	中学部/B課程/3年生

【教材のねらい】

・ひらがなとカタカナをマッチングしてカタカナの形を覚える。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中1段階/ア/(ア)】

・身近な大人や友だちとのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気が付くこと。

思考・判断・表現【中1段階/A 聞くこと・話すこと/ウ】

・見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などについて、内容の大体が伝わるように伝える順序等を考えること。

学びに向かう力人間性【小3段階/ウ】

・言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。



【カタカナマッチング】

【素材・作り方等】

・台紙とカードをそれぞれラミネートしてマジックテープを貼り付ける。



【ひらがな、カタカナブロック】

【素材・作り方等】

・直方体の木製ブロックにひらがなカタカナをそれぞれ貼り付ける

【教材等の紹介:使い方例】

・【カタカナマッチング】は、ひらがなの下に対応するカタカナを貼り付けていく。

・【ひらがな、カタカナブロック】は、読むことが可能なカタカナを含む単語を読み、イラストを選択する。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『文章を作ろう』	国語	中学部/B課程/2年生

【教材のねらい】

・できごとに対して「いつ・どこで・だれが・なにをする・どうだった」という形式で整理する。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中1段階/A/(ウ)】

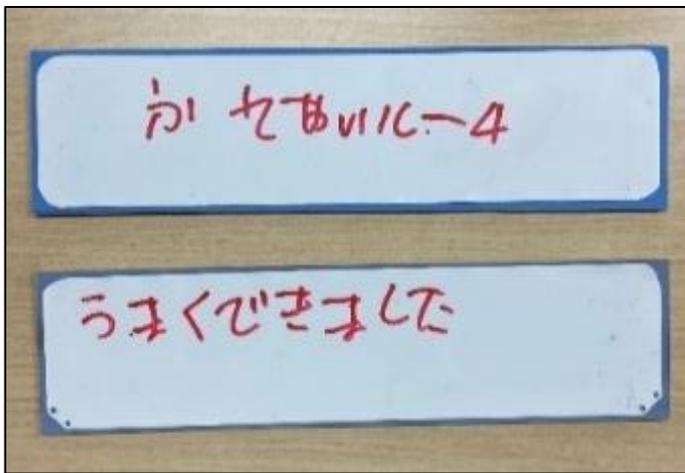
・長音, 拗音, 促音, 撥音, 助詞の正しい読み方や書き方を知ること。

思考・判断・表現【中1段階/B 書くこと/A】

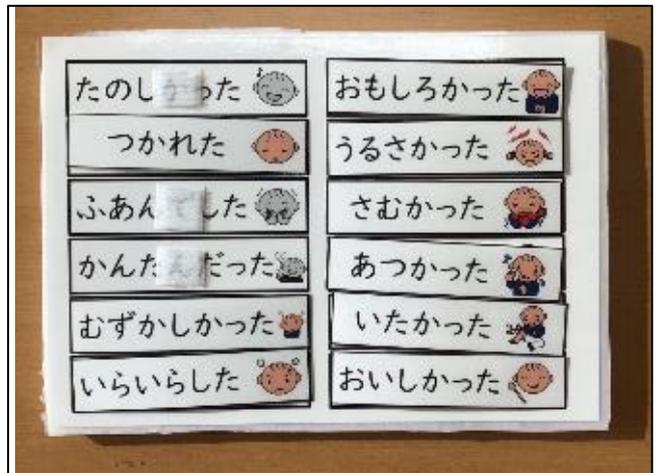
・見聞きしたことや経験したことの中から, 伝えたい事柄を選び, 書く内容を大まかにまとめること。

学びに向かう力人間性【中1段階/ウ】

・言葉がもつよさに気付くとともに, 図書に親しみ, 国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。



【情報整理カード】



【感情選択シート】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・感想を書きたい授業を選択して、授業情報整理カードに「いつ、どこで、だれが、なにをする、どうだった」という形式で整理する。
- ・整理した情報をもとに文章を作成する。
- ・感情がいつも「楽しかった」にならないように1度使ったものは、次回は使わないようにする。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『ことばの学習』	国語	中学部/B 課程/1年生

【教材のねらい】

- ・語彙を増やす。
- ・ことば、手話・ジェスチャーで意思の表出を促す。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中1段階/ア/(ア)】

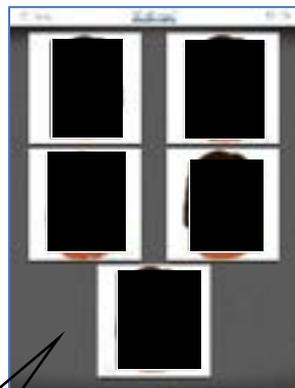
- ・身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。

思考・判断・表現【中1段階/A 聞くこと・話すこと/ア】

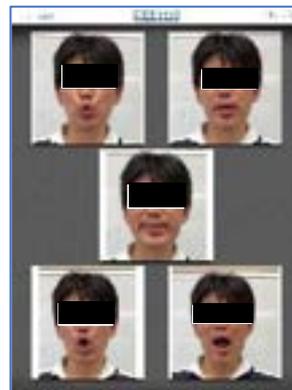
- ・見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などについて、内容の大体が伝わるように伝える順序等を考えること。

学びに向かう力人間性【中1段階/ウ】

- ・言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。



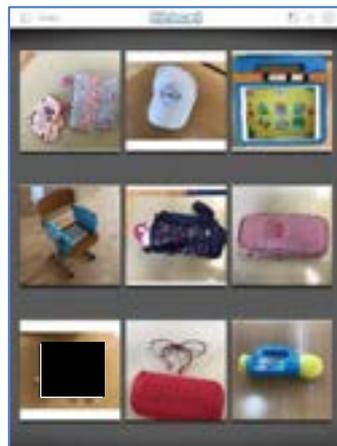
【くちの形イラスト】



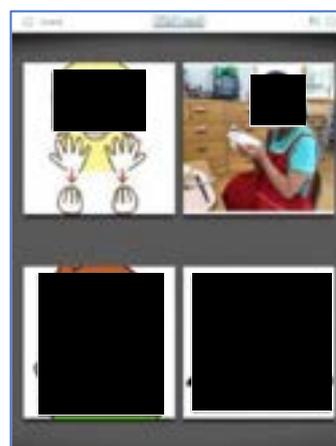
【くちの形写真】

【素材・作り方等】

- ・iPadのアプリにある『Bitsboard』を使って作成する。



【身近なもののボード】



【要求ボード】

【教材等の紹介:使い方例】

- ・口の形のイラストや口の形の写真をタップすると形に対応する「あ」や「い」などの音が出る。
- ・【身近なもののボード】や【要求ボード】は、語彙の学習に加え VOCA として日常的にも使用する。

國語

高等部 A 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 かいてみよう 』	国語	高等部/A 課程/1～3年生・Iコース

【教材のねらい】

- ・色々な筆記具を使って「ぐるぐる」とした線を書く。
- ・「書くこと」を体験し、楽しさを感じる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部 | 段階/イ/(ウ)/㊦】

- ・いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ること。

思考・判断・表現【小学部 | 段階/A/ア】

- ・教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉で表現したりすること。

学びに向かう力人間性【小学部 | 段階/B/イ】



【ぐるぐる線練習用紙】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・細かい動作が苦手な生徒も書くことができるように拡大している。
- ・絵の具、クレヨン、マジックペンなど実態に合った筆記具を選んで書けるようにしている。
- ・1回目は点線をなぞって「ぐるぐる」の線の書き方を覚え、2・3回目は自力で書けるようにしている。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 はらぺこあおむし 』	国語	高等部/A課程/1～2年生・Iコース

【教材のねらい】

- ・言葉と物のマッチングをすることができる。
- ・紐にマスコットを通すという動作を行い、ズボンのベルトを通すなどの動きの練習を行う。

【田島の段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部Ⅰ段階/ア/(イ)】

- ・言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。【小Ⅰ段階/ア/(イ)】

思考・判断・表現【小学部Ⅰ段階/シ/イ】

- ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現すること。

学びに向かう力・人間性【小学部Ⅰ段階/ウ】

- ・言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。



【 はらぺこあおむしのひも通し 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・「りんご」、「おれんじ」等の言葉を聞いて言葉とマスコットのマッチングを行う。
- ・教師がはらぺこあおむしの歌を歌いながら紐にマスコットを通す様子に注目する。
- ・はらぺこあおむしの歌に合わせて、歌に出てくる順番でマスコットを紐に通していく。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 ひらがなに触れよう 』	国語	高等部/A課程/1～3年生・Iコース

【教材のねらい】

- ・好きな言葉や自分の名前など興味のある単語をひらがなで読めるようにする。
- ・平仮名カードを並び替え、表現したいことを平仮名カードで表すことができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部2段階/A/(イ)】

- ・日常生活でよく使われている平仮名をよむこと。

思考・判断・表現【小学部2段階/B/イ】

- ・自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な単語を組み立てること。

学びに向かう力・人間性【小学部2段階/ウ】

- ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。



【 ひらがなカード 】

【素材・作り方等】

- ・カットしたのり付きパネルに印刷したひらがなカードを貼り付けます。
- ・印刷した紙を張り付けて、最後にブックカバーで表面を補強しています。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・自分の名前を並び替えて順番に並び替える。
- ・書きたい文字を机に並べて教師に伝える。
- ・教師の読み聞かせを聞いて、主人公の名前や興味を持った言葉の文字の形をカードで確認する。

國語

高等部 B 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『身近なものの名前』	国語	高等部/B課程/1年生・Aコース

【教材のねらい】

・ひらがなを知る

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部2段階/(1)/(ウ)】

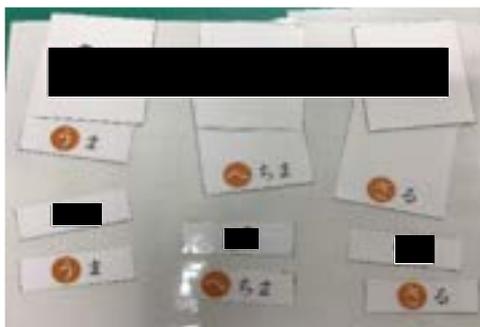
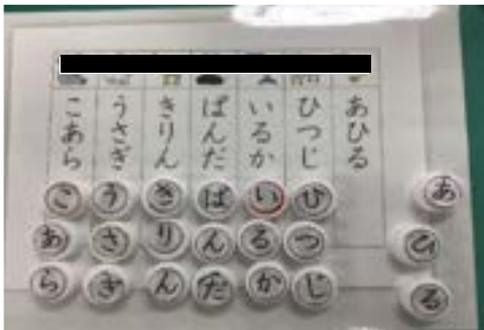
・日常生活で使われているひらがなを読むことができる。

思考力・判断力・表現力【小学部2段階/(2)/B/イ】

・自分の名前や身近な物の名前を文字で表すことができる。

学びに向かう力・人間性【小学部2段階/(1)/(ウ)】

・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。



【教材等の紹介：使い方例】

・絵と文字をマッチングさせる。

・「あいうえお」の文字チップを使い自分の名前、ものの名前を表す。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『スイミーの吹き出し紙芝居を作ろう!』	国語	高等部/B課程/3年生・IVコース

【教材のねらい】

- ・物語を場面ごとに分けて読み、スイミーの気持ちの変化を読み取る。
- ・スイミーの気持ちを読み取り、そこからセリフを想像する。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部Ⅰ段階/知技/(2)/イ/(ア)】

- ・事柄の順序など、情報と情報との関係について理解すること。

思考・判断・表現【中学部Ⅰ段階/思判表/(3)/ア】

- ・簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像すること。

学びに向かう力・人間性【中学部Ⅰ段階/学びに向かう力人間性等】

- ・これまでの学習を生かし、登場人物や作者の気持ちを粘り強く考えて答えを出そうとすること。



【スイミーの教材】

【教材等の紹介：使い方例】

- ①スイミーの吹き出し紙芝居・・・スイミーの気持ちを読み取り、セリフを考える。
- ②スイミーの気持ちグラフ・・・場面ごとのスイミーの気持ちの変化を視覚化する。
- ③なりきりスイミー・・・頭に付けてスイミーになりきってセリフを発表する。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 電話の応対 』	国語	高等部/B 課程/2 年生・V コース

【教材のねらい】

- ・小道具として活用することで、臨場感を出す。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【高等部 1 段階 (1) /ア/ (ア)】

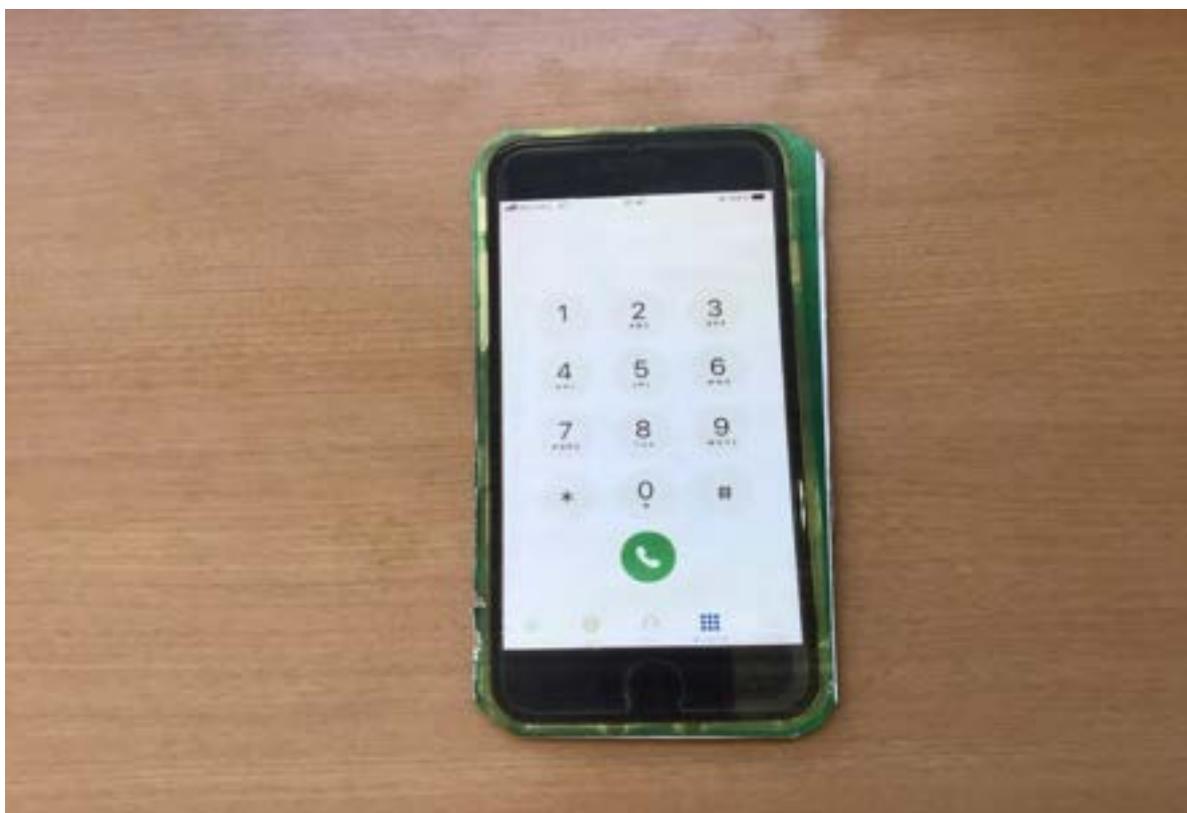
- ・社会生活に関わる人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることを知ること。

思考・判断・表現【中学部 2 段階 (1) /A/イ】

- ・相手や目的に応じて、自分の伝え方を明確にすることができる。

学びに向かう力・人間性【中学部 2 段階/ウ】

- ・思いや考えを伝えあおうとする態度を養う。



【 携帯電話 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・ペアで電話練習をするときに使用する。

算数・数学

小学部・中学部 A 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『ファスナーを引っ張ろう』	算数	小学部/A 課程/5年生

【教材のねらい】

- ・手で探索して様々な素材や形の変化に気づく。
- ・実際に具体物を操作する。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小I段階/C図形ア(ア)㊦】

- ・具体物に注目して指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。

思考・判断・表現【小I段階/C図形(イ)㊦】

- ・対象物に注意を向け、対象物の存在に気づき、諸感覚を協応させながら具体物を捉えること。

学びに向かう力人間性【小I段階/ウ】

- ・図形に気づき、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。



【 ファスナーの持ち手 】

【素材・作り方等】

- ・ポーチのファスナー部分にオーガンジーやスズランテープ、鈴などを付ける。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・物があることに気づき様々な素材に触れ、ファスナーを引っ張る。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 「押す」と「引っ張る」をしよう 』	算数	小学部/A課程/4年生

【教材のねらい】

- ・具体物に注目する。
- ・諸感覚を協応させて具体物を操作する。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小1段階/C図形/A/(ア)/㉞】

- ・具体物に注目して指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。

思考・判断・表現【小1段階/C図形/(イ)/㉞】

- ・対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉えること。

学びに向かう力人間性【小1段階/ウ】

- ・図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。



【素材・作り方等】

- ・のり付きパネルに顔写真を貼り付けて音（インターホン）のなるスイッチを付ける。

【素材・作り方等】

- ・プラスチック素材に穴をあけて、ストールを差し込む。

【 あいさつボタン 】



【 引っ張れ!ファスナー 】



【 引っ張れ!ストール 】

○教材の工夫

- ・視覚的、触覚的にどんな活動をすれば良いのかが分かりやすいような教材にしている。
- ・押したり、引いたりする位置が分かりやすいような物をつけたり、目立たせている。

【教材等の紹介:使い方例】

- ・【 あいさつボタン 】は、スイッチを見つけてボタンを押す。
- ・【 引っ張れ!ファスナー 】は、好きなものをポーチに入れてファスナーを引っ張り取り出す。
- ・【 引っ張れ!ストール 】は、好きな感触のストールの感触を楽しみながら引っ張る。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 具体的に伝えよう 』	数学	中学部/A 課程/3 年生

【教材のねらい】

・自分の要求を「あっち」や「こっち」など抽象的な言葉で言い表す生徒に具体的に伝える練習を行う。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部 3 段階/B 図形/ア/（ア）/㊦

・前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すこと。

思考・判断・表現【小学部 3 段階//B 図形/ア/（イ）/㊦

・身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすること。

学びに向かう力/人間性【小 3 段階/ウ】

・図形や数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。



【 右からなんばんめ? 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・ロッカーに授業や日常生活でよく使うものを入れる。
- ・ロッカーには『〇から1番、2番…』といったラベルを貼る。
- ・ロッカーの中身は入れ替え、表現が固定されないようにする。

算数・数学

小学部・中学部 B 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 写真を見てアヒルを入れよう 』	算数	小学部/B 課程/3年生

【教材のねらい】

・写真を手掛かりに、3までの数の具体物を操作する。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部Ⅰ段階/B 数と計算/ア（ア）㊦】

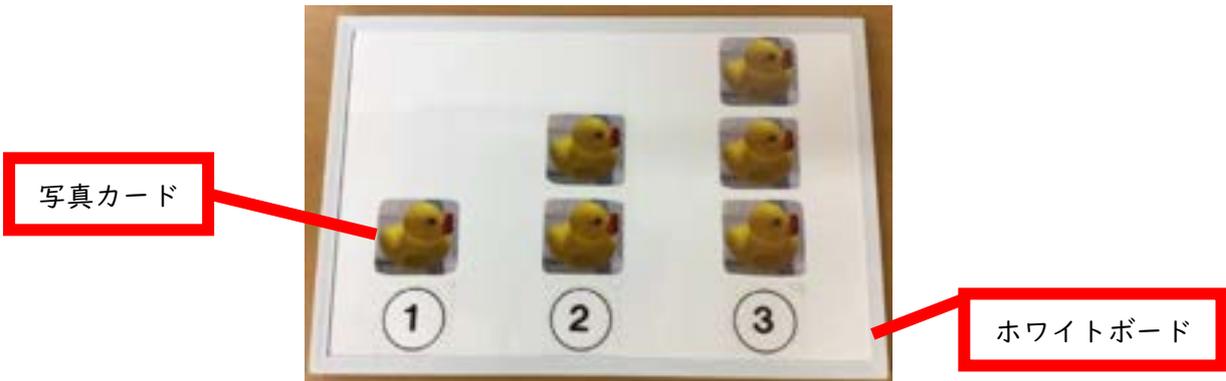
・写真やマークを見て、同じ数の具体物を操作することができる。

思考・判断・表現【小学部Ⅰ段階/B 数と計算/ア（イ）㊧】

・教員の数唱に合わせて、一緒に数えることができる。

学びに向かう力・人間性【小学部Ⅰ段階/B 数と計算/ウ】

・3までの数についての学習に進んで取り組み、意欲的に学ぼうとしている。



【 アヒルの数字ボード 】



【 アヒルの家 】

【素材・作り方等】

- ・ホワイトボードに、アヒルの写真カードとそれぞれに該当する数字を縦方向に貼ります。
- ・アヒルの家のフタ部分にも同様の視覚支援を縦方向に提示します。タッパーにはさむと安定します。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・アヒルの数字ボードの写真の上に、アヒルの具体物を教員が数唱しながら置いていきます。
- ・数字ボード上のアヒルをタッパーに貼っている写真と同じ数だけ入れます。
- ・入れたら教員と一緒に指差しをしながら数えます。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 おうちにかえそう 』	算数	小学部/B 課程/3 年生

【教材のねらい】

- ・ 児童の興味のある立体物や愛着がわきそうなものを扱う。(食べ物や感触の良い動物)
- ・ 遊び要素を取り入れる。(フルーツ盛り作りや動物が家に帰る設定)

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部Ⅰ段階/C 図形/ア(ア)㊦】

- ・ 同じもの同士の集合づくりをすることができる。

思考・判断・表現【小学部Ⅰ段階/C 図形/ア(イ)㊧】

- ・ ものとももの属性に気付き、箱に分類することができる。

学びに向かう力・人間性【小学部Ⅰ段階/C 図形/ウ】

- ・ ものの形を捉え、算数の学習に意欲的に学ぼうとしている。



【 おうちにかえそう 】

全ての玩具が
入った青い箱

それぞれの
おうち



【 フルーツもりづくり 】

【教材等の紹介：使い方例】 お風呂玩具、おままごと玩具、ケース

- ・ 分類するものを青い箱に入れる。
- ・ 動物は大きめのケースを用意し、その中に入れる。
- ・ 果物は皿を用意し、その中に入れる。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 どちらに入っているかな? 』	数学	中学部/B課程/2年生

【教材のねらい】

- ・物の、ある・ないを認識させる。
- ・マッチングをすることで、1～5までの数量の一致を図る。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部Ⅰ段階/A数量の基礎/A(ア)④】

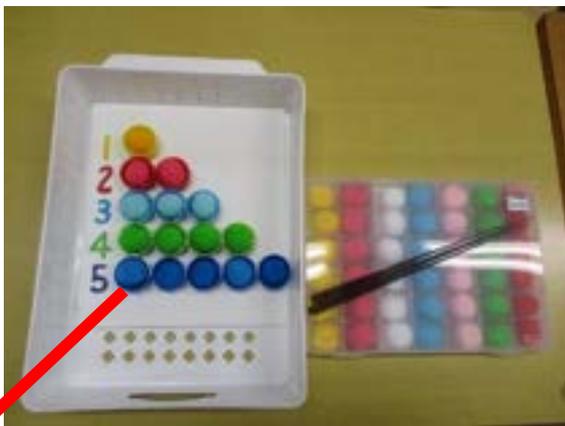
- ・隠されたおもちゃを、目で追うことができる。

思考・判断・表現【小学部Ⅰ段階/A数量の基礎/A(イ)⑦】

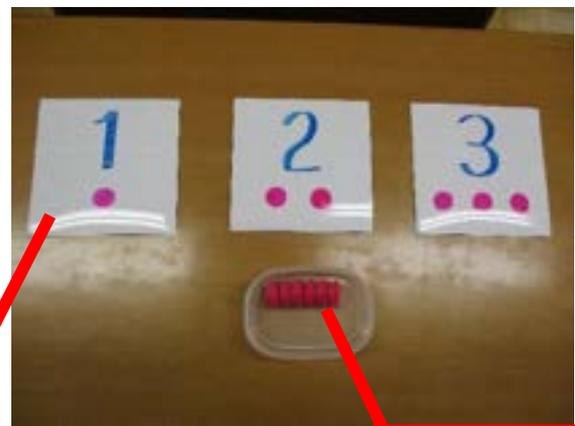
- ・二つの選択肢から、選ぶことができる。

学びに向かう力・人間性【小学部Ⅰ段階/A数量の基礎/ウ】

- ・数量に気付き、学習に関心をもって取り組もうとしている。



ペットボトル
キャップ



マグネットシート

マグネット

【 数に合わせて入れてみよう！付けてみよう！ 】

【素材・作り方等】

- ・数字と、数字に該当する数のペットボトルキャップをボードに貼ります。キャップと同じ色のポンポンボールを用意します。(ポンポンボール：100円ショップにて購入)
- ・マグネットシートに色ペンで数字やマグネットの数の印を記入します。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・ポンポンボールのマッチングができるので、そこに数字を添えてみました。
- ・印めがけて、マグネットを置くことができるので、そこに数字を添えてみました。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 多いと少ない 』	数学	中学部/B課程/3年生

【教材のねらい】

- ・具体物を見たり、操作したりすることで、量の比較を学ぶ。
- ・色と大きさが少し異なるもので比較し、見た目ではなく個数で判断する力を育む。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部Ⅰ段階/D測定/ア(ア)㊦】

- ・具体物を比較して「多い」と「少ない」がわかる。

思考・判断・表現【小学部Ⅰ段階/D測定/ア(イ)㊦】

- ・「多い」と「少ない」の手話を通して伝えることができる。

学びに向かう力・人間性【小学部Ⅰ段階/D測定/ウ】

- ・比較の学習に対して意欲的に取り組もうとすることができる。



もこもこボール



【 もこもこボール 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・机の上に置かれた複数のもこもこボールを、教員の手で多い方と少ない方に分けます。
- ・「どちらが多い？/少ない？」と問いかけます。
- ・次の問題に移る時は一度もこもこボールを机の上にまとめて、分けるところから出題します。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『数のマッチングをしよう』	算数	小学部/B課程/5年生

【教材のねらい】

- ・ 6～10までの数字とイラストカードの量の一致をさせるために、1～10までをまとまりで貼る。
- ・ 指の絵やバラバラに配置された絵を入れて様々な方向から理解させる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部2段階/A数と計算/ア(ア)㊦】

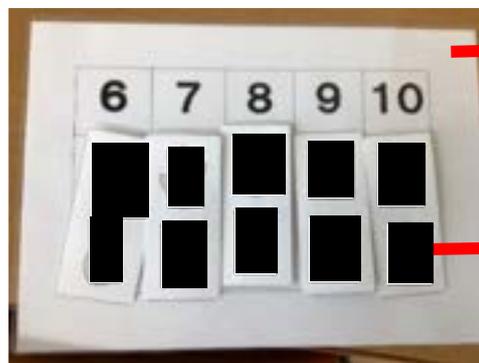
- ・ 1～10までの数について分かり、提示された数字と同じカードを操作することができる。

思考・判断・表現【小学部2段階/A数と計算/ア(イ)㊧】

- ・ 絵や指を見て該当する数字カードを教員に見せることができる。

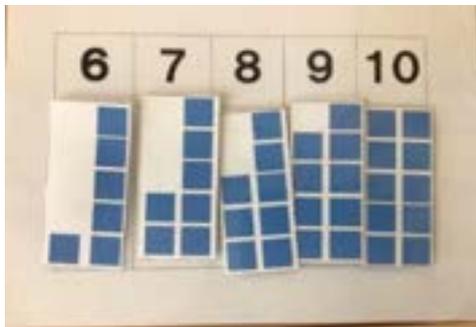
学びに向かう力・人間性【小学部2段階/A数と計算/ウ】

- ・ 数字と具体物を一致させる学習に取り組むことができたか。



数字ボード

イラストカード



青ブロックと比べて
不規則にアンパンマンを
配置しています。

【 数字とカードを一致させよう 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・ 本人で1～10の数字の下に同じ数のカードを一致させて貼ります。
- ・ 教員と一緒に指をさして数えます。
- ・ 指を使ってより分かりやすく1～10までを学習します。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 同じものは何個かな 』	算数	小学部/B 課程/6 年生

【教材のねらい】

- ・複数種類の模様から指定された模様の数を数えることができるようにする。
- ・シンボルの大きさを変えたり種類を増やしたりすることで難易度を調整できる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小 2 段階/A 数と計算/A】

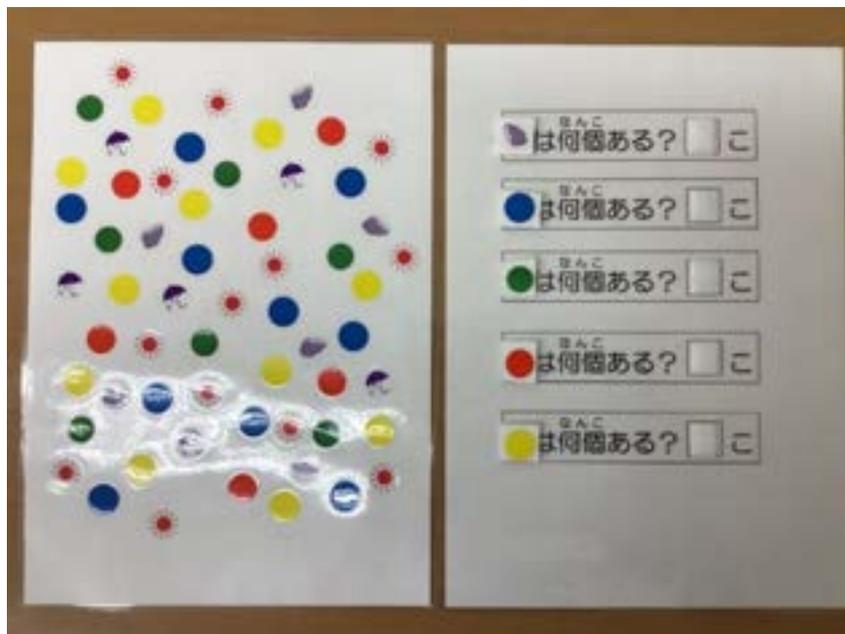
- ・様々な模様の中から指定された模様の数を正しく数えることができる。

思考・判断・表現【小 2 段階/A 数と計算/I】

- ・指定された模様を指差し又は印を付けながら数唱する。

学びに向かう力・人間性【小 1 段階/A 数と計算/U】

- ・数唱をして数を数えたり、計算したりすることができる。



【 同じ模様は何個？ 】

【素材・作り方等】

- ①複数種類のシールをランダムに A4 サイズの用紙に貼り付けます。(写真左側)
 - ②別の A4 サイズの用紙に問題文と答えが貼り付けられるように四角の枠を作ります。答えの枠にはマジックテープで貼れるようにあらかじめ貼っておきます。(写真右側)
 - ③どちらの用紙もラミネートで補強してあります。
- 用意するもの：A42 枚・複数種類のシールを複数枚・マジックテープ

【教材等の紹介：使い方例】

- ・文字と実際のシンボルによる指示で何を数えるか示す。
- ・シンボルを張り替え可能にしており、答えを丸暗記できないようになっている。
- ・ごちゃごちゃした中から指定してあるシンボルを数える教材。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 5までの数を知ろう 』	算数	小学部/B 課程/4年生

【教材のねらい】

- ・数とイラストのマッチングができるようになる。
- ・下絵が無くても少しずつ、数順を意識して並べられるようになる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部 2 段階/A 数と計算/A (ア)】

- ・5までの数字カードを順番に並べることができる。

思考・判断・表現【小学部 1 段階/A 数と計算/A (イ)】

- ・3までの数字カードと具体物を一致させることができる。

学びに向かう力・人間性【小学部 1 段階/A 数量の基礎/ウ】

- ・5までの数を知る学習に取り組むことができたか。



カード

【 5までの数のマッチングボード 】

下絵

【素材・作り方等】

- ・のり付きパネル2枚をA4サイズにカットします。1枚はカードのサイズに合わせてくり抜き、2枚を合わせて貼り付けます。
- ・中の下絵とカードの絵は印刷した紙を張り付けて、最後にブックカバーで表面を補強しています。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・カードと下絵の数字を数唱しながら児童と一緒に指さしして確認する。
- ・1つずつ1のカードから順番に手渡したり、一つの箱に全部のカードを入れて一人ではめるように促したり児童の実態に応じて提示の仕方（手渡し方）を変えます。
- ・全部がはまったら下絵を見ながら答え合わせをします。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 足し算をしてみよう 』	数学	中学部/B 課程/1 年生

【教材のねらい】

- ・ 数学の勉強に対して意欲を持たせる。
- ・ マグネットで見える化し計算しやすくする。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部3段階/A 数と計算/イ(ア)㊦】

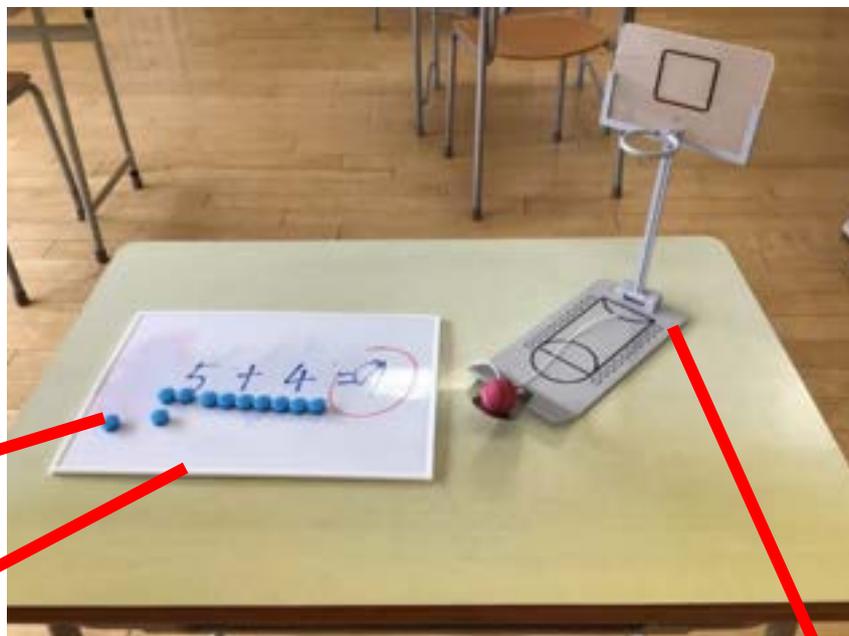
- ・ 答えが10になる計算式を読み取って計算をすることができる。

思考・判断・表現【小学部3段階/A 数と計算/イ(イ)㊧】

- ・ 二つの具体物の合計を見て、加法か減法かを判断し式に表すことができる。

学びに向かう力・人間性【小学部3段階/A 数と計算/ウ】

- ・ 数の計算の学習について自分から進んで取り組み意欲的に学ぼうとしている。



マグネット

ホワイトボード

バスケットボール
ゲーム教材

【 卓上ゴールで数を数えるセット 】

【素材・作り方等】

- ・ 1～5、6～10の表、それぞれの図形やイラストを印刷し、ラミネートで補強します。
- ・ ボードとカードにマジックテープを貼り、何度でも取り組めるようにします。
- ・ ホワイトボード、マグネット：100 円ショップにて購入。
- ・ バスケットボールゲーム教材：Amazonにて購入。980 円。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・ ホワイトボードに式を書き、計算をする。
- ・ わからない場合は数字の数だけシュートを打ち、ゴールしたらマグネットを貼る。
- ・ 最後にマグネットを数え、答えがいくつかを考える。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 足し算をしよう 』	数学	中学部/B課程/3年生

【教材のねらい】

- ・数をかぞえる。
- ・ことばと式を組み合わせ、足し算を行う。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小3段階/A数と計算/イ/(ア)/㊦㊧】

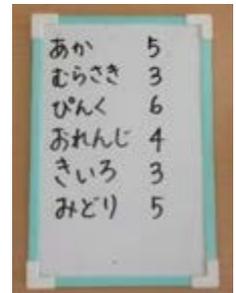
- ・加法が用いられる合併や増加等の場合について理解すること。
- ・加法が用いられる場面を式にしたり、式を読み取ったりすること。

思考・判断・表現【小3段階/A数と計算/イ/(イ)/㊦】

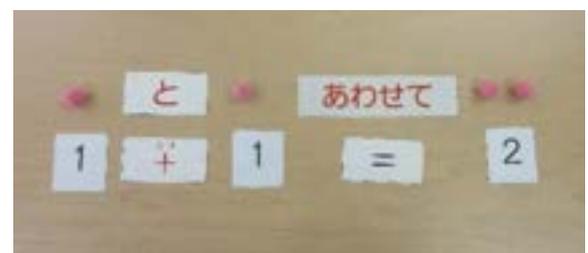
- ・数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かすこと。

学びに向かう力人間性【小3段階/ウ】

- ・数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。



【 お箸の練習セット 】



【 足し算セット 】

【教材等の紹介:使い方例】

- ・箸でポンポンをつまみながら指定された色を指定された数分だけ容器に移す。
- ・足し算の意味を理解するために言葉を読みながら式を作り、解答する。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『数と同じだけの車両を連結させよう』	数学	中学部/B課程/1年生

【教材のねらい】

- ・数詞とイラストを対応させて個数を正しく数えられるようにする。
- ・好きなイラストやキャラクター等、身近なものから始めて、数の課題のバリエーションを広げる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部2段階/A数と計算/A(ア)】

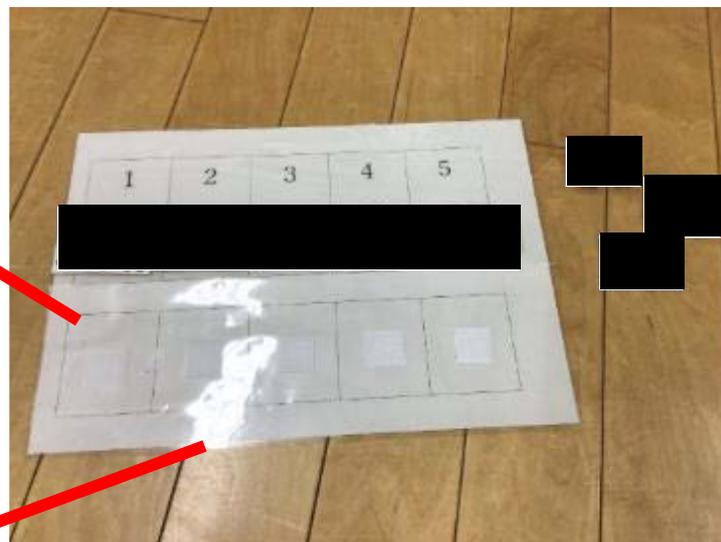
- ・5までの数字カードを順番に並べることができる。

思考・判断・表現【小学部2段階/A数と計算/A(イ)】

- ・5までの数字カードと具体物を一致させることができる。

学びに向かう力・人間性【小学部1段階/A数量の基礎/ウ】

- ・興味関心があるものを数詞で表すよさを感じ、意欲的に学ぼうとしている。



数字を貼る

ラミネートした
イラストカード

ラミネートした表

【数とイラストのマッチング課題】

【素材・作り方等】

- ・一段目に数字を入力した表をラミネートし、空白の欄にはマジックテープを貼ります。
- ・好きなイラストをラミネートし、裏にマジックテープを貼ります。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・最初に数字と数字のマッチングを行う。次に、マッチングさせた数分の電車を表に貼り付けていく。
- ・最初に3までの数で電車を表に貼り付け、同じ数の数字を選択して対応させる。できるようになってきたら、4～5と数を増やしていく。
- ・電車を指差して数唱し、正解を確認する。

数学

高等部 A 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 数と計算 』	数学	高等部/A課程/1～3年生・Iコース

【教材のねらい】

- ・ 具体物を使うことにより、複唱だけでなく、触ったり指差ししながら確認することができる。
- ・ リンゴ狩りを疑似体験することにより、興味を持って取り組むことができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部1段階/B/(ア)/①】

- ・ 目の前のものを、1個、2個、たくさんで表すこと。

思考・判断・表現【小学部1段階/B/(イ)/⑦】

- ・ 数詞ともものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすこと。

学びに向かう力人間性【小学部1段階/ウ】

- ・ 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。



【 リンゴの木 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・ 全体と一緒にリンゴを数える。
- ・ 生徒にリンゴを取ってもらいながら、1、2と確認する。
- ・ 取りたい生徒には取れるだけ取ってもらい、「たくさん」の言い方も確認する。

数学

高等部 B 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等/
『 金銭 』	数学	高等部/B 課程/2 年生・IVコース

【教材のねらい】

- ・ お金の模型を用いることで、金銭感覚を身に付ける。
- ・ 2 位数、3 位数の加法、減法の計算をできるようにする。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部Ⅰ/A/A/㉞】

- ・ いくつかの同じまとまりに分割したうえで数えたり、分類して数えたりすることができる。

思考・判断・表現【中学部Ⅰ/A/A/㉟】

- ・ 数のまとまりに注目し、数の数え方を考え、日常生活に生かすことができる。

学びに向かう力・人間性【中学部Ⅰ段階ア】

- ・ 金銭に関わる学習に進んで取り組むことができたか。



【 お金の模型 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・ お金が合計で何円あるか数えさせる。
- ・ 等しい金額になるように両替させる。
- ・ 店員役と客役になって買い物練習を行わせる。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『測定～長さ～』	数学	高等部/B課程/2年生・Vコース

【教材のねらい】

- ・単位の関係性について理解を深める。
- ・単位換算ができることが分かり、単位換算表を用いて単位の変換をする。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部Ⅰ段階/A/ア/(ア)①⑦】

- ・長さの単位 (mm、cm、m、km) や重さの単位 (g、kg) について知り、測定の意味を理解すること。
- ・かさの単位 (mL、dL、L) について知り、測定の意味を理解すること。

思考・判断・表現【中学部Ⅰ段階/C/ア/(イ)⑦】

- ・身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、くらべたりすること。

学びに向かう力・人間性【中学部Ⅰ段階/C】

- ・数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

①

単位換算表									
重さ	t			kg			g		mg
	1	0	0	0	0	0	0	0	0
長さ				km			m	cm	mm
かさ				kL			L	dL	mL

②

40	メートル			メートル			メートル	メートル	メートル
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
km				m			cm	mm	

【 単位換算表（単位計算尺） 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・単位を換算する時に使用する。中央にある数字の「1」と「0」を記載した帯を動かして、左右にスライドすることで、単位の関係性が一目で分かるようにしている。
- ・①は「長さ」「重さ」「かさ」の3つをまとめて表記。単位が「m」「g」「L」が基準になっていることや、数値の大きさにも関連性があることに気付けるようにしている。②は「長さ」のみを表記。①より情報量を少なくして、見やすくしているため、生徒の実態に応じてどちらかを選べるようにしている。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『測定～長さ～』	数学	高等部/B課程/2年生・Vコース

【教材のねらい】

- ・長さの単位及び読み方を確認する。「1 mm」「1 cm」「1 m」「1 km」あたりの実量が分かる。
- ・長さの単位に関して、一目で必要な情報が分かる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部Ⅰ段階/A/ア/(ア)①】

- ・長さの単位 (mm、cm、m、km) や重さの単位 (g、kg) について知り、測定の意味を理解すること。

思考・判断・表現【中学部Ⅰ段階/C/ア/(イ)⑦】

- ・身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、くらべたりすること。

学びに向かう力・人間性【中学部Ⅰ段階/C】

- ・数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。



【 長さ単位表 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・単位とその読み方を確認し記入する。それぞれ指定の長さで紙テープを切り、貼り付ける。
- ・単位変換の欄は「1 cm = 10 mm」「1 m = 100 cm」等は、定規等の目盛りを実際に数えて確認。その他は単位変換表を使って長さのの関係性を確認をしている。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 図形 』	数学	高等部/B 課程/3 年生・V コース

【教材のねらい】

- ・面積問題の計算の仕方を理解する。
- ・正確に定規を扱い、作図する。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部 2 段階/イ/知技/㊦】

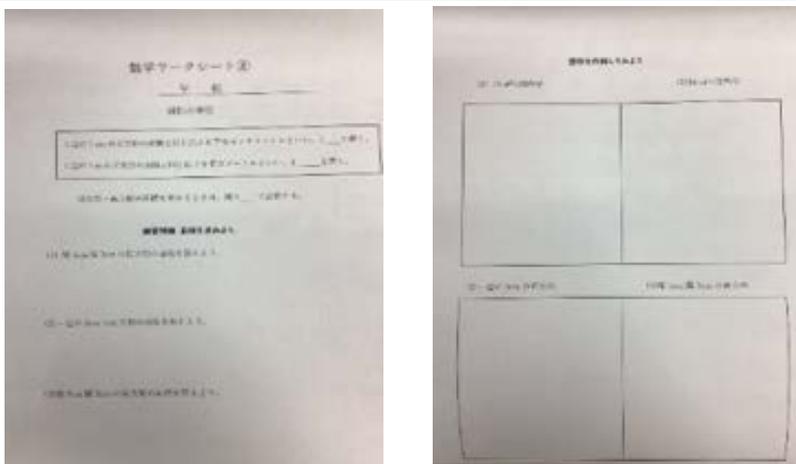
- ・面積の単位（平方センチメートル（ cm^2 ）、平方メートル（ m^2 ））について知り、四角形の面積の求め方について知る。

思考・判断・表現【中学部 2 段階/イ/思判表/㊦】

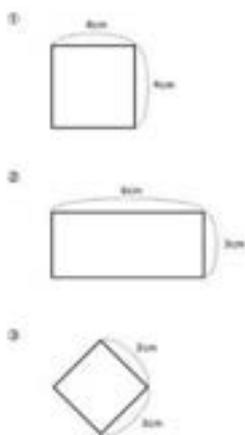
- ・面積の単位に着目し、四角形の面積について求め方を考え、計算する。

学びに向かう力/人間性

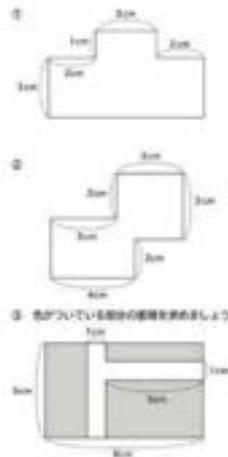
- ・数学で学んだことを理解し、生活や学習に活用しようとする態度を養う。



次の図形や正方形の面積を求めましょう。



次の図の面積を求めましょう。



【 図形問題ワークシート 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・面積の単位をパワーポイントと連動しながら、ワークシートに記入する。
- ・正方形・長方形の面積の求め方の応用問題として行う。

音楽

小学部・中学部 A 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
「あきがはじまるよ」	音楽	小学部/A 課程/1・2・3年

【教材のねらい】

- ・得意な指の動きで自ら楽器を鳴らす経験を積む。
- ・楽器を主体的に演奏する。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小1段階/A 表現/A音楽遊び(イ)】

- ・表現する音に気付くこと。
- ・音や音楽を感じて器楽の音を出すことができる。

思考・判断・表現【小1段階/A 表現/A音楽遊び(ア)】

- ・音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすること。

学びに向かう力・人間性等【小1段階/A 表現/A音楽遊び】

- ・器楽(楽器を鳴らすこと)の学習に進んで取り組み、意欲的に学ぼうとしている。



【吊られたバチ】

【素材・作り方等】

- ・本立てに毛糸でバチを結びつけます。
- ・バチを斜めにするために長さをバチや毛糸の長さを調整します。
- ・毛糸がずれないように養生テープで固定しています。

【教材等の紹介:使い方例】

- ・指を動かすことが得意なので触れる部分が下につくようになっている。
- ・バチが動く範囲を決めることで動きを制約する。
- ・てこの原理を利用する。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『音を感じ楽しもう』	音楽	中学部/A 課程/2 年生

【教材のねらい】

・教員が手を貸すのではなく、各自のニーズに応じて、教材教具の角度を設定したり、固定したりする。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中1段階/A 表現/(2)ア】

・友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能。

思考・判断・表現【中1段階/A 表現/(2)ウ(イ)】

・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想にふさわしい表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつこと。

学びに向かう力、人間性【中1段階/ウ】

・進んで音や音楽に関わり、共同して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。



【自在固定具】

【素材・作り方等】

・雑貨屋などで売っている、タブレットの固定具です。

・自分で取り外しができるので、使う場面に応じて角度や位置を変えられるように掴む部分を大きくしたり、手届きやすい場所に設置をします。

【教材等の紹介:使い方例】

・自走式の車椅子の児童生徒に、自走しながら iPad 等の操作を可能にします。

・小太鼓などを叩きたいが角度が合わずに介助が必要な場面で、本人の一番叩きやすい角度に固定します。

・iPad で定点録画をする際、不安定な場所でも簡単に固定できます。

音樂

小学部・中学部 B 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『音のカーニバル』	音楽	小学部/B課程/1・2年生

【教材のねらい】

- ・自発的に楽器に手を伸ばす
- ・操作することによって音が鳴ることに気付く

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小1段階/A表現/ア音楽遊び(ウ)①】

- ・音や音楽を感じて音を出す技能

思考・判断・表現【小1段階/B鑑賞/ア音楽遊び(ア)】

- ・音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つけようとする。

学びに向かう力・人間性【小1段階/ウ】

- ・器楽(楽器を鳴らすこと)の学習に進んで取り組み、意欲的に学ぼうとしている。



ステンレスバット

ゴム

ビーズ、鈴

透明ホース

木製、プラスチックビーズ

【触って見て聴いて♪手作り楽器】

【素材・作り方等】

- ・透明ホースの中にビーズや小さい鈴を入れます。ホースの先は布ガムテープを巻きつけて中身が出ないようにします。
- ・100均の調理用ステンレスバットに、ビーズを通したゴムを布ガムテープで貼り付けます。引っ張りやすいように、若干ゆとりを持たせて貼ります。

【教材等の紹介:使い方例】

- ・引っ張る、こする、たたく、振る、傾ける等して音を鳴らす。
- ・思わず触りたくなるように、本児が普段好んでいるおもちゃに近い素材で作成した。
- ・目で見て楽しめるようにカラフルなビーズや鈴を使用した。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 よこそ音の世界へ 』	音楽	小学部/B 課程/1・2年

【教材のねらい】

・視覚にも働きかけて、楽器を主体的に演奏する。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小1段階/A 表現/ア音楽遊び(イ)】

・表現する音に気付くこと。

思考・判断・表現【小1段階/A 表現/ア音楽遊び(ア)】

・音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすること。

学びに向かう力・人間性【小1段階/ウ】

・器楽(楽器を鳴らすこと)の学習に進んで取り組み、意欲的に学ぼうとしている。



紙吹雪

【 カラー紙吹雪 】

【素材・作り方等】

・目立つ色の色画用紙をシュレッダーで裁断します。

【教材等の紹介:使い方例】

- ・はじめは自由に楽器を演奏できるようにする。
- ・少し様子を見てから、太鼓の表面に紙吹雪をそっと置く。
- ・児童が楽器を叩くタイミングに合わせて紙吹雪をセットする。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 高い音低い音 』	音楽	中学部/B 課程/1・2・3年

【教材のねらい】

・高い音、低い音の違いに気づけるようにする。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小2段階/A/イ器楽(イ)④】

・楽器の音色の違いについて気づくこと。

思考・判断・表現【小3段階/A/イ器楽(イ)④】

・演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づくこと。

学びに向かう力・人間性【小2・3段階/ウ】

・使う楽器を自分で選ぶなどして主体的に学ぼうとする。



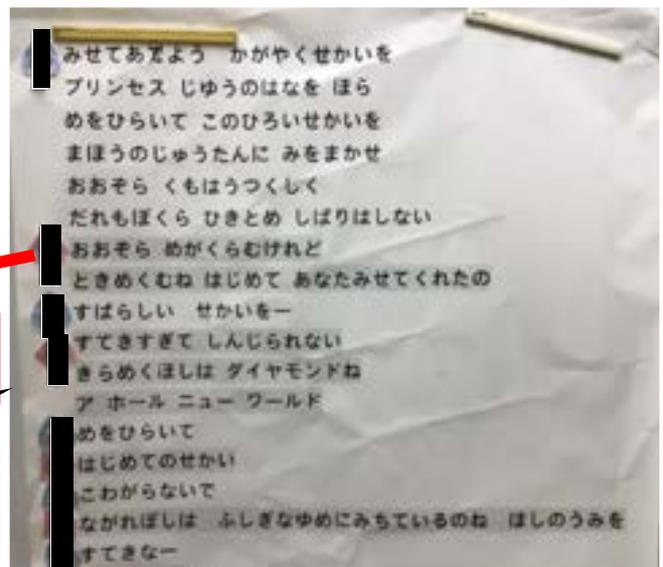
“低い”イラスト



“高い”イラスト

【素材・作り方等】

・イラストを印刷して貼り付ける。



【“高い”“低い”を示すイラスト】

【教材の紹介：使い方例】

・音の高さの違いに気づけるよう視覚支援として女声（高い）パート、男声（低い）パートそれぞれキャラクターイラストを貼った。

・同じイラストを提示したものを提示して、（歌・器楽）合図を出す。

・楽曲鑑賞の場面ではイラストを提示して、その楽曲が高かったか低かったかクイズの様に問うことに用いた。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『たいこを鳴らして夏を感じよう!』	音楽	小学部/B 課程/5年生

【教材のねらい】

・楽器を鳴らす、待つが視覚的に分かるようにする。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小2段階/A 表現/イ器楽(イ)㉞】

・拍や曲の特徴的なリズムについて気付くこと。

思考・判断・表現【小2段階/A 表現/イ器楽(ア)】

・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつこと。

学びに向かう力・人間性【小2段階/ウ】

・器楽の学習に取り組み、使う楽器を自分で選ぶなどして主体的に学ぼうとする。

(表)



(裏)



イラストカード

【絵カード】

ラミネート

【素材・作り方等】

- ・イラストカードを A4 サイズで印刷し、表面と裏面を貼り付けます。
- ・ラミネートをして補強しています。

【教材の紹介:使い方例】

- ・使う楽器に合わせた視覚支援教材を用意する。(左上 鳴子/ 右上 太鼓/ 左下 マラカス/ 右下 ハンドベル)
- ・児童が教員の手本を見ながらリズム打ちをしている様子が確認できてから、教材を児童の目の前で見せたり、見えないように隠したりして、楽器を鳴らす・待つを意識できるようにする。
- ・初めは視覚支援教材を見せて、待つを意識させる時には教員も同じように待って手本を見せるようにする。

授業名	教科	学部/課程/学年・学習グループ等
『音階を感じながら演奏しよう』	音楽	中学部/B課程/Cグループ

【教材のねらい】

・視覚にも働きかけて、楽器を主体的に演奏する。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中1段階/A表現/イ器楽(ウ)㊦】

・簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏する技能

知識及び技能【中2段階/A表現/イ器楽(ウ)㊧】

・友達の楽器の音や伴奏を聴いて、リズムや速度を合わせて演奏する技能

思考・判断・表現【中1段階/A表現/イ器楽(ア)】

・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合った表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつこと。

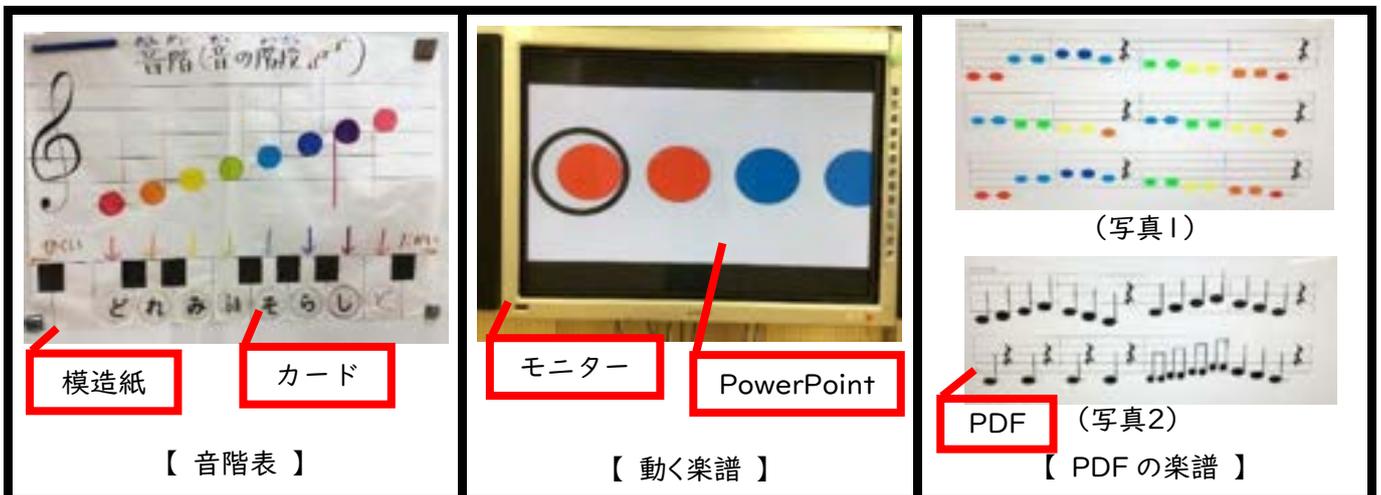
思考・判断・表現【中2段階/A表現/イ器楽(ア)】

・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想にふさわしい表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつこと。

学びに向かう力・人間性等【中1・2段階/ウ】

・器楽（楽器を鳴らすこと）の学習に取り組み、意欲的に学ぼうとしている。

・最後まで諦めずに自分の演奏に責任や自信を持ち、積極的に合奏を行おうとしている。



【素材・作り方等】
 ・模造紙にペンで書きました。
 ・「どれみふあそらし」は印刷したものをラミネートして、裏面に磁石を付けました。

【素材・作り方等】
 ・PowerPointで小節や拍に合わせて楽譜を作りました。
 ・それらを画像に起こし、新しいPowerPointで画像にアニメーションをつけ、継続時間や遅延を調整しました。
 ・最終的にはこれを動画に起こし、最後にiMovieで伴奏の音を動きに合わせて貼り付け、1つの動画にしました。

【素材・作り方等】
 ・Word文書で表を使い、作りました。
 ・完成したらPDFに起こし、タブレットで見れるようにしました。（紙印刷もできます。）

【教材等の紹介:使い方例】

音階表:ドレミファソラシを色別で示した表を掲示しました。ハンドベル、デスクベルの色と対応させました。

動く楽譜:右から左に流れてくる楽譜を使用しました。(動画形式ファイル)色のついた●が○の中に入ったタイミングで鳴らすようにしました。

PDFの楽譜:最初は色別で音を示した楽譜を使用しました。(写真1)

慣れてきた段階で通常の楽譜を使用しました。(写真2)

音楽

さくら分教室

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『へい!タンブリン』	音楽	小学部/B 課程/習熟度別グループ

【教材のねらい】

- ・振り付けの動きやタンブリンを叩くタイミングを視覚的に確認する。
- ・自発的に踊ったりタンブリンを叩いたりする。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小2段階/A表現/I器楽/(ウ)】

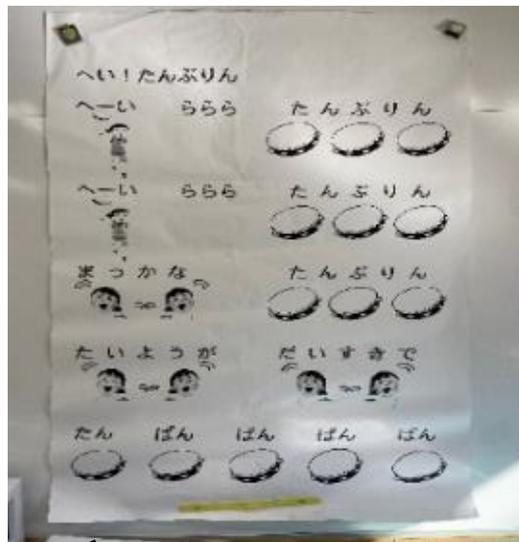
- ・思いに合った表現をするために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。
 - ㉗ 範奏を聴き、模倣をして演奏する技能
 - ㉘ 身近な打楽器を演奏する技能
 - ㉙ 教師や友達と一緒に演奏する技能

思考・判断・表現等【小2段階/A器楽/(ア)】

- ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつこと。

学びに向かう力・人間性

- ・教師に励まされながらさまざまな音楽活動を経験することで興味を持って自ら活動している。



【振り付け譜】

【素材・作り方等】

- ・Word かパワーポイントで振り付け譜の原本を作成。
- ・拡大機で拡大する。
(※拡大すると白黒になるので、実態に応じてカラーで原本を印刷し貼り付け。拡大機は使用しない。)

【教材等の紹介:使い方例】

- ・器楽「へい!タンブリン」にて実態に応じて使用する。
- ・振り付けの動きを一つずつ確認できるようにイラスト化したものである。
- ・授業中は歌詞と対応する箇所を教師が指差しする。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『へい!タンブリン』	音楽	小学部/B 課程/習熟度別グループ

【教材のねらい】

- ・振り付けの動きやタンブリンを叩くタイミングを視覚的に確認する。
- ・自発的に踊ったりタンブリンを叩いたりする。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小2段階/A表現/I器楽/(ウ)】

- ・思いに合った表現をするために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。
 - ㉗ 範奏を聴き、模倣をして演奏する技能
 - ㉘ 身近な打楽器を演奏する技能
 - ㉙ 教師や友達と一緒に演奏する技能

思考・判断・表現等【小2段階/A器楽/(ア)】

- ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつこと。

学びに向かう力・人間性

- ・教師に励まされながらさまざまな音楽活動を経験することで興味を持って自ら活動している。



【振り付けカード】

【素材・作り方等】

- ・Word かパワーポイントで振り付けカードの原本を作成する。
- ・一枚ずつラミネートする。
- ・穴を開けてリングでまとめる。

【教材等の紹介:使い方例】

- ・器楽「へい!タンブリン」にて実態に応じて使用する。
- ・振り付けの動きを一つずつ確認できるようにイラスト化したものである。
- ・振り付け譜と異なり、現在進行家の振り付けのみめくってカードで示す。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『へい!タン布林』	音楽	小学部/B 課程/習熟度別グループ

【教材のねらい】

- ・グーチョキパーの組み合わせを視覚的に捉え、つくっているものをイメージする。
- ・主体的にイラストカードを見てグーチョキパーの手の形をつくる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小2段階/A表現/I器楽/(ウ)】

- ・思いに合った表現をするために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。
 - ㉗ 範奏を聴き、模倣をして演奏する技能
 - ㉘ 身近な打楽器を演奏する技能
 - ㉙ 教師や友達と一緒に演奏する技能

思考・判断・表現等【小2段階/A器楽/(ア)】

- ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつこと。

学びに向かう力・人間性

- ・教師に励まされながらさまざまな音楽活動を経験することで興味を持って自ら活動している。



【グーチョキパーカード】

【素材・作り方等】

- ・Word かパワーポイントで作成する。
- ・ラミネートし、裏に磁石を貼る。

【教材等の紹介:使い方例】

- ・音楽あそび「グーチョキパーでなにつくろう」で使用する。
- ・グーチョキパーの組み合わせとつくるものを絵で表す。
- ・活動前に児童が数枚あるカードの中から好きなカードを選ぶことで、主体性をもって活動することができる。
- ・活動前に自分の手をイラストの手のマッチングをし、グーチョキパーの組み合わせの確認をする。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『へい!タン布林』	音楽	小学部/B 課程/習熟度別グループ

【教材のねらい】

- ・足の動きを視覚的に捉える
- ・シートを手がかりに振り付けを踊る

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小2段階/A表現/I器楽/(ウ)】

- ・思いに合った表現をするために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。
 - ㉗ 範奏を聴き、模倣をして演奏する技能
 - ㉘ 身近な打楽器を演奏する技能
 - ㉙ 教師や友達と一緒に演奏する技能

思考・判断・表現等【小2段階/A器楽/(ア)】

- ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつこと。

学びに向かう力・人間性

- ・教師に励まされながらさまざまな音楽活動を経験することで興味を持って自ら活動している。



【足型シート】

【素材・作り方等】

- ・Word かパワーポイントで振り付け譜の原本を作成。
- ・4枚印刷し、ラミネートしたものをテープで貼りつなげる。

【教材等の紹介:使い方例】

- ・身体表現「しろくまのジェンガ」で使用する。
- ・足の動きを視覚的に捉えられるように用いる。左右、前後が分かりやすいように色を分けて作成した。
- ・基本立って使用する。
- ・黄色をスタート位置とする。

音樂

高等部 B 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 身体表現 』	音楽	高等部/B 課程/3 年生・Ⅲコース

【教材のねらい】

- ・身体を動かしながら、拍を分割することができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部2/エ/(イ)/⑦】

- ・拍や曲の特徴的なリズムについて気付く。

思考・判断・表現【小学部3/エ/(ア)】

- ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつこと。

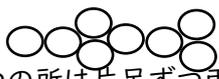
学びに向かう力・人間性

- ・音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。



【 並べたフラフープ 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・フラフープを並べる。 
- ・フープ1つは片足、2つの所は片足ずつ両足を入れる。
- ・片足は1拍、両足は2拍と考えて、曲に合わせてフープを跳んでいく。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『リズムゲーム(創作・身体表現)』	音楽	高等部/B課程/3年生・IVコース

【教材のねらい】

- ・グループでリズムゲームに使う言葉やリズムを共有する。
- ・リズムゲームに使う言葉の数や、使える拍数の枠を提示する。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部Ⅰ段階/A/ウ/(ウ)/㊦】

- ・設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現する技能

思考・判断・表現【中学部Ⅰ段階/A/ウ/(ア)/㊦】

- ・音遊びを通して、どのように音楽をつくるのかについて発想を得ること。

学びに向かう力・人間性

- ・協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、進んで音楽に関わろうとする。



(使用例)

【手拍子リレーセット】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・グループで決めたお題に沿った言葉を、それぞれの領域の空白部分に記入する。
- ・グループで決めたそれぞれの言葉のリズムを、それぞれの言葉の下の枠内に収まるように音符カードを貼る。
- ・手拍子リレーをする際に、自分が叩く言葉とそのリズムを選び、ゲームに取り組む。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『鑑賞』	音楽	高等部/B課程/1年生・Bグループ

【教材のねらい】

・音楽を鑑賞した時に、言葉にしづらい感情を言葉に表す手助けとなる。

【田島の段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部1段階/B/A(ア)】

・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の良さなどを見し出して聴くこと。

思考・判断・表現【小学部2段階/B/A/(イ)】

・鑑賞の活動を通して、好きな音色や楽器の音を見付けること。

学びに向かう力・人間性【中学部1段階/B/A(ア)】

・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

【音楽】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・曲名、作曲者名、作曲者の生国を伝えてから、鑑賞をする。
- ・DVDで音楽鑑賞をする。
- ・自分で感じた雰囲気を、選択肢から選んで○をつける。
- ・さらに関したことを言葉にできるようなら、自由な感想のところに記入する。

図工・美術

小学部・中学部 A 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『版画をつくろう』	図工	小学部/A 課程/5・6年生

【単元のねらい】

- ・様々な素材に触れて、触感を楽しむことができる。
- ・ホワイトボードに版を貼り付け、児童が版を見ながらローラーを動かせることができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小1段階/A表現/ア(イ)】

- ・使いたい色を選ぶことができる。
- ・自分なりの技法で版に色をのせたり刷ったりすることができる。

思考・判断・表現【小1段階/A表現/ア(ア)】【小1段階/B鑑賞/ア(ア)】【小1段階/共通事項/ア(ア)(イ)】

- ・さまざまな色に気付く。
- ・ローラーを動かすことで色がつくことに気付く。
- ・自分や友達の作品に注目することができる。

学びに向かう力・人間性【学びに向かう力、人間性等】

- ・版画作りに進んで取り組み、意欲的に学ぼうとしている。



写真1



写真2



写真3

【素材・作り方等】

- ・フルーツネットやぷちぷち、すべり止めシートなど、触感を楽しむ素材を両面テープで貼って版作りを行った。(写真1)
- ・児童が版を見ながら、ローラーで色を塗れるように、移動式のホワイトボードに児童が作成した版を目線の高さに貼り、色をつけた。(写真2)
- ・児童が作成した版に版画用紙を置き、バレンや手を使ってこすり、版画用紙をゆっくりはがして完成。(写真3)

【単元等の紹介：実施例】【作品について】

- ・1時間目に、触感を楽しむ素材を選び、両面テープで張り付けて版を作製しました。
- ・2時間目は、1時間目に作成した版にローラーで色を付け、バレンを使って版を刷りました。
- ・版に全面を塗る児童と教員が全面を塗り模様をつける児童というように実態に応じて活動を一部変更しました。

図工・美術

小学部・中学部 B 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 不思議な海の生き物 』	図工	小学部/B 課程/5・6年生

【単元のねらい】

- ・マーブリングの技法を使って模様をつけることができる。
- ・海をイメージして自分なりの方法で、お花紙を丸めたり、ちぎったりして台紙に貼ることができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部Ⅰ段階/A 表現/A (ア)】

- ・身近な用具を使ってかいたり形を作ったりすることができる。

思考・判断・表現【小学部Ⅰ段階/A 表現/A (イ)】

- ・丸めたりちぎったりしたお花紙から、表したいことを思いつくことができる。

学びに向かう力・人間性【小学部Ⅰ段階/U】

- ・イメージに合わせてかいたり形を作ったりする学習に進んで取り組むことができる。



児童の作品

教員が作成した見本



【 不思議な海の生き物 】

【素材・作り方等】

- ・魚の形に切った画用紙にマーブリングで模様をつけます。
- ・海をイメージしてキラキラのテープやお花紙を丸めたりちぎったりして台紙に貼ります。
- ・最後に台紙に魚や泡をイメージした丸シールを貼ります。

【単元等の紹介：実施例】

- ・海がイメージできるように、海の写真や作品の見本を提示します。
- ・書くことにつながるように、マーブリングを使って、竹串やフォークで混ぜる活動を行います。混ぜる時には、「ぐるぐる」などと言葉かけをして、直線だけでなく様々な線がかかるように促します。また、混ぜることが難しい児童生徒には、教員が手を添えて行い、混ぜる経験が積めるようにします。
- ・授業の最後には、児童の作品をクラスで鑑賞する時間を取りました。作成中のエピソードや児童がイメージした事柄を授業中に共有できるように「海の中にいるみたいだね」「お魚が楽しそうだね」などと言葉がけしながら発表するようにしました。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 氷で描こう 』	図工	小学部/B 課程/1・2年生

【単元のねらい】

- ・氷に触れて描くことができる。
- ・氷を見たり、触ったりして、表そうとすることができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部Ⅰ段階/A表現ア(イ)】【小学部Ⅰ段階/共通事項(ア)】

- ・氷に触れて描くことができる。
- ・氷がとける様子や氷が転がる様子を見て、手を動かして描くことができる。

思考・判断・表現【小学部Ⅰ段階/A表現/(ア)】

- ・氷を見たり、触れたりして、表そうとすることができる。

学びに向かう力・人間性【小学部Ⅰ段階ウ】

- ・自分なりのペースで表現活動を楽しむことができる。



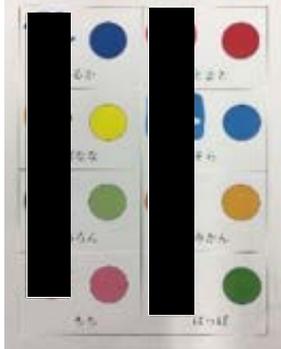
【 氷で描こう 】

【素材・作り方等】

- ・氷で描いた画用紙を乾かして、かき氷の形の型で画用紙を切り抜きます。皿とフォークは色画用紙で形を切り抜いて、台紙に張ります。かき氷ののれんの絵はカラープリントして貼り付けました。

【単元等の紹介：実施例】

- ・色付きの氷を自由画用紙の上で動かして模様を描いた。児童が手に取りやすい氷を選ぶことができるように、大きさの異なる氷を用意して、動かしたい氷を選べるようにした。
- ・2、3色の色付き氷が溶けて色が重なったりにじんだりしてついた色彩を生かして作品にした。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等	
『どろどろ粘土で作ろう（液体粘土）』	図工	小学部/B課程/5・6年生	
<p>【単元のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 液体粘土の性質を知り、作りたい形に合わせて材料や用具を使うことができる。 選択肢の中から、作りたい形や色を選ぶことができる。 			
<p>【田島の学習段階表と学習指導要領から】</p> <p>知識及び技能【小2段階/A表現ア（イ）】【小2段階/共通事項/A（ア）】</p> <ul style="list-style-type: none"> （イ）身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすること。 （ア）自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。 <p>思考・判断・表現【小2段階/A表現/A（ア）】【小2段階/共通事項/（イ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> （ア）材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思いつくこと。 （イ）形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。 <p>学びに向かう力・人間性【小2段階/ウ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を想像しようとする態度を養う。 			
 <p>【児童作品】</p>			
<p style="text-align: center;">【 どろどろ粘土で作ろう 】</p>			
<p>【素材・作り方等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 【色の名前表】色名を分かりやすい物の名前でご表記して、色をイメージしやすいようにしました。 【手順書】本時の手順や注意事項を写真などで表記しました。児童が見通しを持って活動ができます。 【型の目印】型の下に青いビニールテープを貼り、目印にしました。テープが見えるようにして、布をかぶせました。 			
<p>【単元等の紹介：実施例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1時間目に油粘土でドーム状のケーキを作りました。粘土に慣れる活動をしました。 2時間目に液体粘土で小物入れを作りました。自分のイメージに合う好きな形と色を選択しました。液体粘土に水彩絵の具で着色して、布を浸しました。布を型にかぶせて形を成形しました。そして、裏側に砂絵の具で着色をしました。 3時間目に小物入れの内側に水彩絵の具で着色して、外側にモールやビーズなどで装飾をしました。授業の最後には、完成した作品を見ながら鑑賞します。 			

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 おばけちゃんを作ろう 』	図工	小学部/B 課程/3・4年生

【単元のねらい】

- ・好きな色のお花紙を選び、出来上がった素材からイメージして自分なりの作品を作ることができる。
- ・お花紙をちぎったり、水を混ぜたりすることで、そのままの紙とは違った作品になることを感じるができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【知識：小2段階/共通事項（ア）】【技能：小2段階/A 表現/A（イ）】

- ・身近な材料を使い作品を作ることができる。

思考・判断・表現【小2段階/共通事項（イ）】【小2段階/A 表現/A（ア）】

- ・材料や、素材の形や色の感じを基に、自分のイメージした作品を作ることができる。

学びに向かう力、人間性【小2段階】

- ・進んで活動に取り組み、作り出す喜びを感じることができる。

【素材・作り方等】

- ① お花紙を選び、ちぎってペットボトルに入れる。

（※1取り出しやすいようにティッシュペーパーの箱に入れる支援を行った。また、入れやすいようにペットボトルは口径の大きなものを使用した。）

- ② ペットボトルに水を入れる。

（※2線の部分まで入れるのがわかるように印をつけてわかりやすいように支援した。水道から入れるのが難しい児童の場合に備えて、やかんや漏斗も用意した。）

- ③ ペットボトルを振った後、紙すきの網に流し込む。（※3）

- ④ すいた紙を黒の光沢用紙にボンドで貼り付ける。

- ⑤ 目シールを貼りお化けを完成させて、まわりに梵天やフェルト、色画用紙をボンドで貼り付けて装飾する。

- ⑥ ポスカを使って周りに色を塗る。



児童の作品



【単元等の紹介：実施例】

- ・実際に一度目の前で紙すきを行い、手順を提示しながら説明を行いました。
- ・12時間目に紙漉きを行い、23時間目に目玉を貼ったり、梵天を貼ったり、ペンで背景を描いたりした。
- ・紙は細かくちぎれなくても、混ざらなくても、それはそれで味のある作品に仕上がりました。
- ・児童が思い思いに貼り合わせてそれぞれのおばけの世界を表現した作品が完成した。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 ぼうしを作ろう 』	美術	中学部/B 課程/1・2・3年生

【単元のねらい】

- ・液体粘土の感触に触れて作品を作ることができる。
- ・自分のイメージに合わせて形や色を選ぶことができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部Ⅰ段階/知識/共通事項（ア）】

- ・形の違いに気づき、液体粘土の感触に触れ、特徴について知ることができる。

思考・判断・表現【中学部Ⅰ段階/A表現/A（ア）】

- ・イメージに合わせて、形や色を選んで表現することができる。

学びに向かう力・人間性【中学部Ⅰ段階ウ】

- ・液体粘土を使った学習に進んで取り組むことができたか。



【 ぼうしを作ろう 】

【素材・作り方等】

- ・①では、三角の帽子と丸い帽子の中から自分のイメージに合う方を選び、どんな帽子を作りたいのか色を塗っていきます。
- ・②：三角の帽子は、画用紙で作った台紙を用意して、その上に液体粘土をつけます。丸い帽子は、ボウルに布をかぶせて、その上から液体粘土をつけます。自分の作りたいイメージに合わせて、液体粘土に絵の具を混ぜてから塗ったり、液体粘土をつけた後に筆を使って絵の具をつけたりします。
- ・③：見本

【単元等の紹介：実施例】

- ・授業では、写真や動画、スライドなどの視覚支援を使って説明をします。
- ・1時間目に、画用紙に描かれた三角の帽子と丸い帽子の色を付けてイメージを作り、2時間目に液体粘土を布や三角の帽子の形をした台紙に付けて作品を作ります。
- ・生徒が液体粘土と絵の具を混ぜるようにして、混ざり加減も自分で決められようにします。
- ・授業の最後には、完成した作品や写真を見ながら鑑賞します。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 等身大の私 』	美術	中学部/B課程/1・2・3年生
<p>【単元のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を解放して思いおもいに描く楽しさを味わう。 ・友達と協力して活動することができる。 		
<p>【田島の学習段階表と学習指導要領から】</p> <p>知識及び技能【中学部2段階A表現ア（ア）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造形的な視点について理解し、材料や用具の使い方を身に付け、多様な表し方を工夫する技術をみにつけるようにする。・経験したことや創造したこと、材料などを基に表したいことや表し方を考えて、描いたり、作ったりすることができる。 <p>思考・判断・表現【中学部2段階表現ア（イ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、材料などを基に発想し構想するとともに、自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。 <p>学びに向かう力・人間性【中学部2段階ウ共通事項（ア）（イ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。・形や色彩、材料などの特徴について理解すること。・造形的な特徴などからイメージを捉えること。 		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>教員が作成した見本</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生徒の作品</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生徒の作品</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">【 等身大のわたし 】</p>		
<p>【素材・作り方等】</p> <p>素材：ロール紙・絵の具・ボール・古い布・クレヨン・ローラー</p> <p>作り方：①ロール紙の上に寝転がる。</p> <p style="padding-left: 20px;">②教員に自分の型をクレヨンで写しとる。自分の好きな絵を体の中や外に描く。</p> <p style="padding-left: 20px;">③ボールに古い布を巻き、絵の具を付けて転がす。ローラーで色をぬる。</p>		
<p>【単元等の紹介：実施例】</p> <p>「等身大の私」とは、飾らない、ありのままの自分を表現して欲しいという意味が込められている。好きな色に気付いたり、好きなスポーツをしている様子を体で表現したり。様々なこころみをしている生徒がおおくみられる課題です。大きなロール紙でなくても模造紙をつなげて実物大の自分を描くことで心を解放することができる。また絵の具をローラーやボールで付けることにより偶然できる色や表現も楽しむことができる。絵を描くことの苦手な児童・生徒も協力することにより、美術でコミュニケーションをはかることもできる課題です。</p>		

美術

高等部 A 課程

美術

高等部 B 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 オリジナルスタンプを作ろう 』	美術	高等部/B 課程/1 年生・A グループ

【単元のねらい】

- ・鏡文字を書くのが難しい生徒でも、名前スタンプが作成できる。
- ・デザイン画通りのスタンプが作成できる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部3段階/A/ア(イ)】

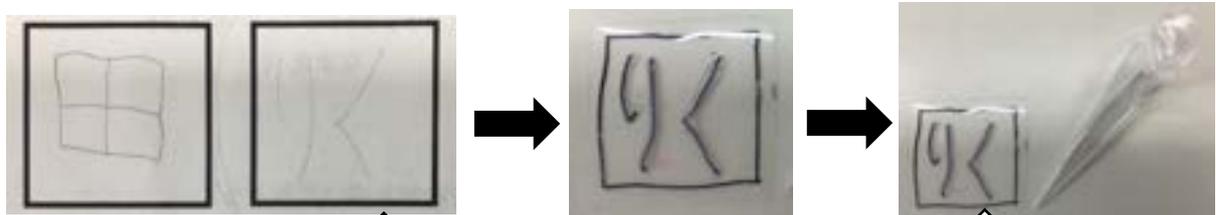
- ・様々な教材や用具を使い、工夫して絵を描いたり、作品をつくったりすること。

思考・判断・表現【小学部2段階/A/ア(ア)】

- ・教材や、感じたこと、見たことから表したいことを思いつくこと。

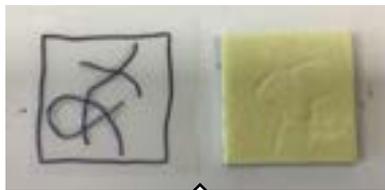
学びに向かう力・人間性【小学部3段階/A/ア(イ)】

- ・進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、作りだす喜びを味わうとともに、完成を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。



① デザイン画の上にクリアファイルを置いて写す

② ボンドでなぞる



③ 発砲スチロール板に押し当てる



④ 凹んだ部分を油性マジックでなぞる



【 名前スタンプ 】

完成

【単元等の紹介：実施例】

準備するもの：クリアファイル、木工用ボンド、ビニール袋、発砲スチロール板、油性マジック

- ①デザイン画を写す。
- ②ボンドでなぞる。(ビニール袋を利用して「絞り」を作成すると、ボンドの量が調整でき、なぞりやすい。)
- ③ボンドが乾いたら、発砲スチロール板に押し当てる。
- ④凹んだ部分を油性マジックでなぞる。
- ⑤スタンプの完成。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『「友達の服をデザインしよう」/「友達の顔を描こう」』	美術	高等部/B課程/2年生・Ⅲコース

【単元のねらい】

- ・友達を意識して洋服と技法を選び、洋服のデザインをすることができる。
- ・友達の顔写真を通して、友達の顔を表現することができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部1段階/A/ア(イ)】

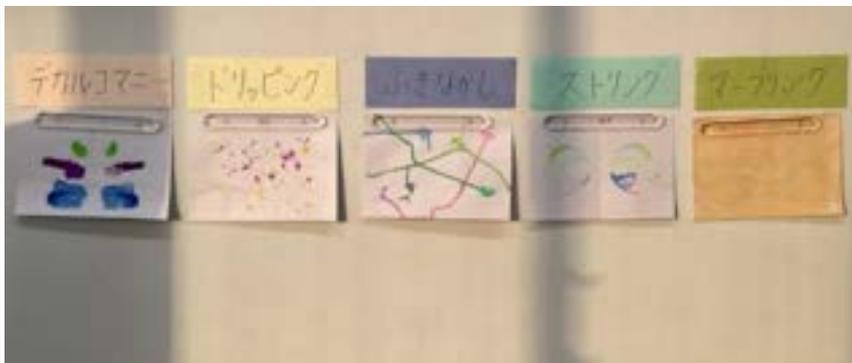
- ・材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すこと。

思考・判断・表現【小学部3段階/B/ア(ア)】

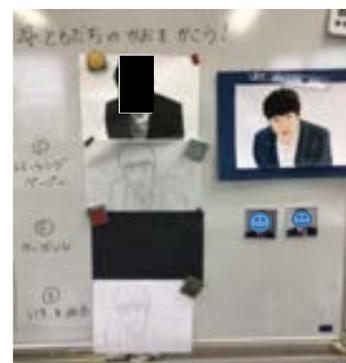
- ・自分たちの作品や、日常生活の中にあるものなどの形や色、表し方の面白さなどについて、感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。

学びに向かう力・人間性

- ・創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を営む態度を養い、豊かな情操を培う。



【 モダンテクニック見本 】



【 トレーシングペーパー、カーボン紙 】



【 洋服選択(他：ズボン、靴) 】

【素材・作り方等】

- ・左上：モダンテクニック見本。教科書等参照。選択しやすいように一列に並べて表示。
- ・左下：洋服、ズボン、靴が印刷された画用紙。好きなものを選択できるように4種類ずつ用意。技法の種類によっては画用紙を半分に折るため、イラストは中心に表示している。
- ・右：写真、カーボン紙、トレーシングペーパー

【教材等の紹介：実施例】

- ・洋服のデザイン：①友達に似合う（好きな）種類の洋服、ズボン、靴（が印刷された画用紙）を選ぶ。
②衣装に似合う（好きな）技法を選んで、デザインする。
③友達の顔写真とデザインした衣装(洋服、ズボン、靴)を貼ってコーディネートする。
- ・友達の似顔絵：①写真の上にトレーシングペーパーを置き、線をなぞる。
*輪郭が捉え辛い生徒には、赤(太)ペンで写真の輪郭を明確にしておく。
②画用紙、カーボン紙、トレーシングペーパーの順に重ね、トレーシングペーパーの線を上からなぞる。
③写真を参考にしながら、画用紙に移った絵に絵具で色をつける。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『紙版画』	美術	高等部/B課程1年生・BCコース

【単元のねらい】

- ・版は反転することを理解する。
- ・デザイン画から版を制作する行程を具体的に知る。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部1段階/A/ア/(イ)】

- ・材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すこと。

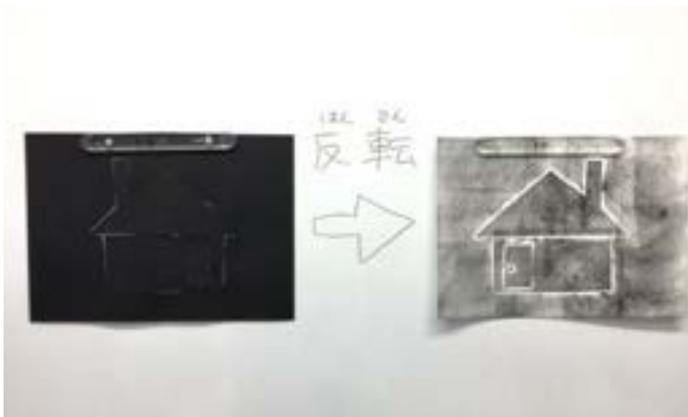
思考・判断・表現【中学部2段階/A/ア/(ア)】

- ・経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること。

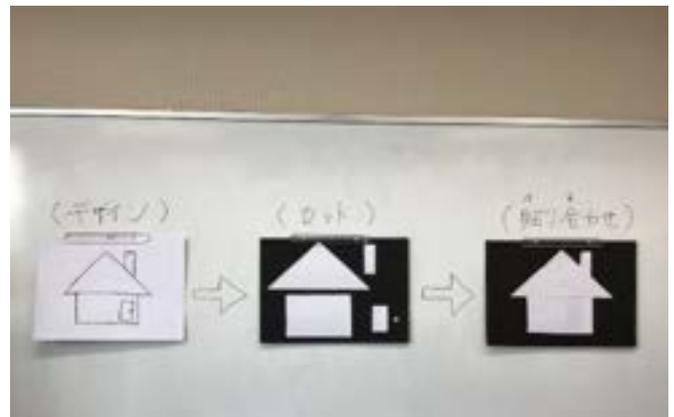
学びに向かう力・人間性

- ・創作活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を豊かにし、心豊かな生活を営む態度を養い、豊かな情操を培う。

②



①



【素材・作り方等】

- ・①：デザイン画を制作する段階で示し、デザイン制作の参考とする。
- ・②：デザイン完成後、そのデザインを版にしていく段階でこの教材を示す。

デザインをパーツに分解し、パーツの前後を考えながら配置することで、表現に立体感が生まれることを伝える。

【単元等の紹介：実施例】

- ・授業では、上の写真のように板書をして説明します。
- ・1時間目に紙版画についての学習を行います。2時間目～6時間目ではデザインに合わせて用具を選択し、版を作ります。7時間目で版刷りをして、8時間目に作品の鑑賞会を行います。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『デザイン パッケージデザインを描こう②』	美術	高等部/B 課程/3年生・Vコース

【単元のねらい】

- ・表現したいことにあった用具を選択することができるよう、選択肢の幅を広げる。
- ・デザインを参考にしながら自分の表現したいことをイメージできるようにする。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【高等部Ⅰ段階/A/ア/(イ)】

- ・材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すこと。

思考・判断・表現【高等部Ⅰ段階A/ア/(ア)】

- ・対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構成を練ること。

学びに向かう力・人間性

- ・自分で表現することへ楽しさを感じ、表現したいことに合わせて用具・色・模様を決める。



【 パッケージデザインに使用する材料と道具 】

【素材・作り方等】

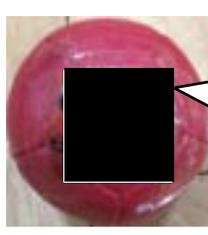
- ・素材及び道具の紹介：①パッケージデザインの写真 ②パッケージデザインボックス(組み立てることができ、面に模様を付けることができる。) ③ポイント ④スタンプ(スタンプングで使用。)
- ⑤マスキングテープ ⑥ローラー ⑦金網・ブラシ (スパッタリングで使用。)

【単元等の紹介：実施例】

- ・様々な技法を使って生徒がデザインをできるようにする。
- ・手順書を参考にボックスを組み立てて、道具を使ってデザインを行う。
- ・パッケージデザインの写真を参考にデザインをできるようにする。

体育・保健体育

小学部・中学部 A 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 ボッチャ大会に向けて練習しよう 』	体育	小学部/A 課程/1・2・3年生
<p>【教材のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各児童の実態に応じた教材を使用して児童がボールの場所や自分の手の動き、ボールの動く行方を確認する。 ・児童が自分の取り組みによって達成感を感じる。 		
<p>【田島の学習段階表と学習指導要領から】</p> <p>知識及び技能【小1段階/ボール遊びア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすこと。 <p>思考・判断・表現【小1段階/ボール遊びイ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現すること。 <p>学びに向かう力・人間性【小1段階/ボール遊びウ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとする事。 		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<p>【 ①ボールがあたるとひっくり返るイラスト 】 【 ②ボールがあたると音が鳴るイラスト 】</p>		
<p>【素材・作り方等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食で使用する牛乳パックをL字型に切り抜き、パウチした本人が好きなイラストを貼り付けます。 ・ペットボトルに鈴を入れて倒れたら音が鳴るようにして、A4サイズに本人が好きなメロンのイラスト描きパウチしてペットボトルに張り付けます 		
	<p>【素材・作り方等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人の車椅子の高さに合わせながらパネルを切り抜いて、スロープを作成します。スロープの周りは怪我防止のためにテープで補強します。手元はボッチャボールの滑り防止のため柔らかい素材を張り付けます。ボールが通る場所に糸で鈴をつなげて、ボールが通る音が聞こえるようにします。 	
<p>【鈴鳴りスロープ】</p> 	<p>【素材・作り方等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャボールにキラキラした素材を張り付けます。 <p>【 キラキラボッチャボール 】</p>	<p>【素材・作り方等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャボールに好きなイラストを張り付けます。 <p>【 イラストボッチャボール 】</p> 
<p>【教材等の紹介：使い方例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少しの力で転がした弱いボールでも、当たると簡単に倒れてイラストが見える的にしました。また、視覚的に困難が見られる児童には、ボールが的に当たって倒れると音が出たり、的と同じイラストを拡大して倒れたことを知らせる看板を用意しました。 ・ボールが投げられない児童には、実態に合わせたスロープ（クランプ）を作りました。ボールがスロープを転がっていく様子わかるように、ボールの通り道に鈴を付けています。 ・ボールに興味を持てるように、感触を変えたり、イラストを付けたりなど工夫しています。 		

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 風船で遊ぼう 』	体育	小学部/A 課程/5・6年生

【教材のねらい】

・子どもが風船に気付き、触ったり叩いたりすることができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小1段階/ボール遊びア】

・教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすこと。

思考・判断・表現【小1段階/ボール遊びイ】

・ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現すること。

学びに向かう力・人間性【小1段階/ボール遊びウ】

・簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとする事。



【 触ってみたくなる風船 】

【素材・作り方等】

- ・市販のハンガーラックに、大型の風船を紐で吊します。
- ・児童の車椅子の高さ、手を伸ばした時の風船との距離、風船を押して戻ってきた時の位置など、子どもの気付や安全に配慮して、大型風船の吊るす位置を決めます。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・児童と的の間に置き、的を倒す。
- ・風船の両側で児童が向かい合って、弱い力でも風船を打ち合うことができます。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ
『 風船で遊ぼう 』	保健体育	中学部/A 課程/低学年

【教材のねらい】

- ・横臥位、座位、座位保持椅子、車いす等の姿勢でも競技の雰囲気味わいながら風船バレーを行うことができる。
- ・大きな風船が移動することにより、児童本人の気付きを促したり、注目促したりすることができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部 | 段階/ボール遊びア】

- ・教員と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすこと。

体育 思考・判断・表現【小学部 | 段階/ボール遊びイ】

- ・ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現すること。

学びに向かう力・人間性【小学部 | 段階/ボール遊びウ】

- ・簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとする事。



【 レクリエーション バド&テニス 】

【素材・作り方等】

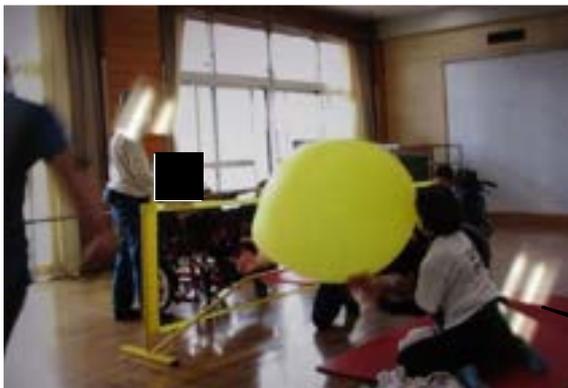
- ・TOEI LIGHT 簡易式ネット。
(組み立て式)



【素材・作り方等】

- ・市販の大型風船をサイズを変えて膨らませる。

【活動の様子】



【教材等の紹介：使い方例】

- ・教室内で体育を行う場合でも、ネットを配置することで児童の興味関心を高め、意欲的に体を動かそうと意識するきっかけとなります。
- ・カラフルで大きな風船がゆっくり動くことで視線で追いやすく、注目を促すことができます。また、自分から風船に触ろうと体を大きく動かすきっかけとなります。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ
『 ボールあてゲーム 』	保健体育	中学部A課程

【教材のねらい】

・ねらいを定めてボールを投げ、ボールあてゲームをすることができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部Ⅰ段階/E球技/A】

・球技の楽しさや喜びに触れその行い方が分かり基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うこと。

思考・判断・表現【中学部Ⅰ段階/E球技/I】

・球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。

学びに向かう力・人間性【中学部Ⅰ段階/E球技/U】

・球技に進んで取組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や道具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動を



【 得点シート&イラストボックス 】

【素材・作り方等】

- ・市販の円形シート（どこからでも的を狙える）
- ・はっきりした色紙で箱を包み、生徒の好きなキャラクター、イラストなどをパウチしたシートを貼り付けの的を作ります。

イラストボックス

得点シート

【素材・作り方等】

- ・プラスチック段ボールを、生徒の車椅子の高さに合わせて切ります。
- ・ボールが転がる方向に、三角シールを貼ります。両サイドを10cmほど折って、テープで止めます。
- ・上の部分は、30cmほど折って、ボールを置くくぼみを作り生徒の膝の上に置けるようにします。下の部分も30cmほど折ってボールが床に沿って転がるようにします。



【 スロープ 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・車椅子からボールを投げる生徒が狙いやすいように、的を大きくしてキャラクターやイラストを付けました。
- ・スロープの上部にボールを置くことで、わずかな動きや力でボールを押し出し、狙った場所に転がすことができます。

体育・保健体育

小学部・中学部 B 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ
『 ボール運動 』	体育	小学部/B 課程/5・6年生

【教材のねらい】

- ・風船バレーでラリーを成立することができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【小学部Ⅰ段階/ボール遊びア】

- ・教員と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすこと。

体育 思考・判断・表現【小学部Ⅰ段階/ボール遊びイ】

- ・ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現すること。

学びに向かう力・人間性【小学部Ⅰ段階/ボール遊びウ】

- ・簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとする事



【 教材名：棒つき風船 】

【素材・作り方等】

- ・ロール芯にスズランテープを付けて、スズランテープの先に風船を取り付ける。
注視できるように支援が必要な場合は、風船の中に鈴や大豆などを入れて音が鳴るようにします。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・自分から風船の方へ向かうことのできない、児童の支援に役立ちます。
- ・棒つき風船で浮遊時間をコントロールすることで、目の前に風船が来る期待感を長く持つことができます。
- ・教員が風船をコントロールして、指導したい児童の目の前に風船を持っていくことができます。「次は、〇〇さん」と呼名した後に風船を動かして、児童同士のラリーを続けることができます。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ
『陸上競技』	保健体育	中学部/B課程/1年生

【教材のねらい】

・ハードルや高跳びなどの障害物を片足でタイミングよく跳び越すことができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部Ⅰ段階/陸上運動/Cア】

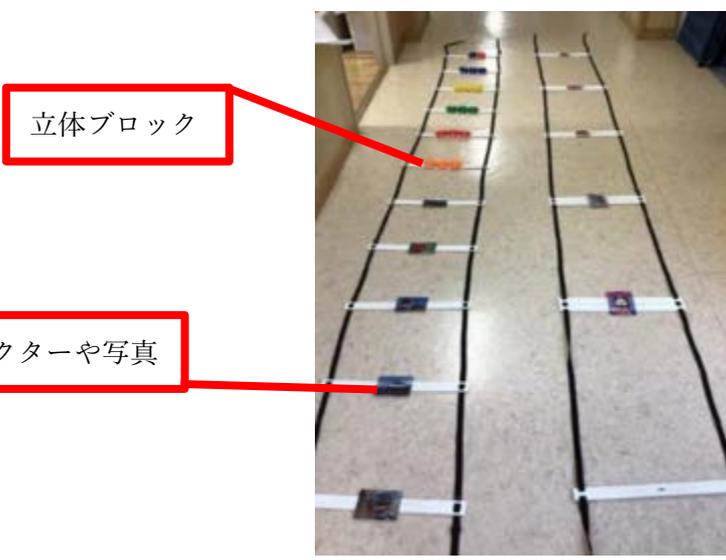
・陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に着けること。

思考・判断・表現【中学部Ⅰ段階/陸上運動/Cイ】

・陸上運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。

学びに向かう力・人間性【中学部Ⅰ段階/陸上運動/Cウ】

・陸上運動に進んで取組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすること。



【イラスト付きラダー】

【素材・作り方等】

- ・市販のラダーを使用します。生徒が障害物に注視できるように、興味があるキャラクターや写真を強力両面テープで接着します。すり足になりって腿が上がっていないことを自分で気付けるように、後半は立体ブロックを接着して引っ掛かりを作ります。
- ・ラダーのインターバルを倍に広げて、跳び越す練習を行うラダーを作ります。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・狭いインターバルで腿上げや、脚上げの練習を行います。片足ずつ足を上にあげて、障害物をまたぎ越すことができたなら、幅の広いラダーを使って跳び越す練習を繰り返し行います。
- ・跳ぶことをイメージしながら体の使い方や跳ぶ感覚、タイミングを身に付けていきます。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ
『 ティーボール 』	保健体育	中学部/B 課程/C グループ

【教材のねらい】

- ・足の位置（身体の向き）を変えてボールを打ち分けることができる。
- ・バッティングでは、バットを振りきることができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領ら】

知識及び技能【中学部 | 段階/E 球技ア】

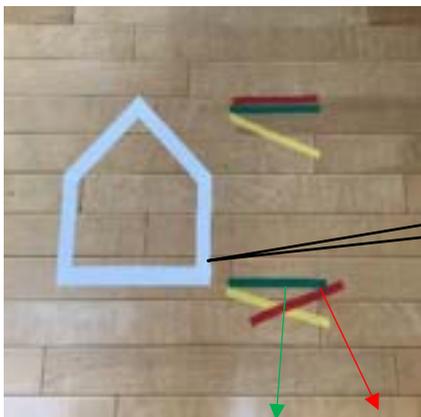
- ・球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うこと。

思考・判断・表現【中学部 | 段階/E 球技イ】

- ・ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現すること。

学びに向かう力・人間性【中学部 | 段階/E 球技ウ】

- ・簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとする事。

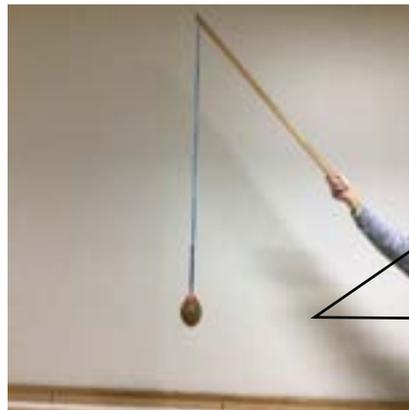


【教材名：足形】

立ち位置とボールの飛ぶ方向

【素材・作り方等】

- ・ラインテープでベースの形を作り床に貼り付けます。
- ・足を置く位置、立ち位置とボールが飛ぶ方向わかりやすくするために、色分けしたビニールテープで支援します。



【素材・作り方等】

- ・木の棒に紐を付けたボールを吊るします。
- ・注視しやすいような目立つ色のボールを使います。



【ボール】

【教材名：振り切るバッティング】

ボールを紐でつるす

【素材・作り方等】

- ・持ちやすい感触、打ち返ししやすい大きさ、見やすい色など、生徒の実態に合わせてボールの大きさや種類を選びます。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・立ち位置によって、ボールの飛んでいく方向を変えることができる。
- ・つるしてあるボールを狙いバックスイングしてバッティングすることができる。
- ・投げる、打つ、キャッチするなど個人の能力によって教員や本人が選んで活動する。

保健体育

高等部 A 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 陸上競技（投擲種目） 』	保健体育	高等部/A課程/1～3年・I、IIコース

【教材のねらい】

- ・投擲動作が自力では難しい生徒でも、投擲競技を行うことができる。
- ・角度をつけることが可能となり、角度の目安があることで理想の投擲軌道を描くことができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【高等部Ⅰ段階/C/陸上競技/A】

- ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けること。

思考・判断・表現【高等部Ⅰ段階/C/I】

- ・陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。

学びに向かう力/人間性

- ・各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして自主的に運動をする態度を養う。



【 誰でもやり飛ばせるくん 】



【 角度調節台 】



【素材】

- ・厚さ 1.5cm ほどの木材×2
- ・釘
- ・太めのゴム
- ・毛糸
- ・平たいハンドルのハサミ
- ・ラップの芯

【作り方】

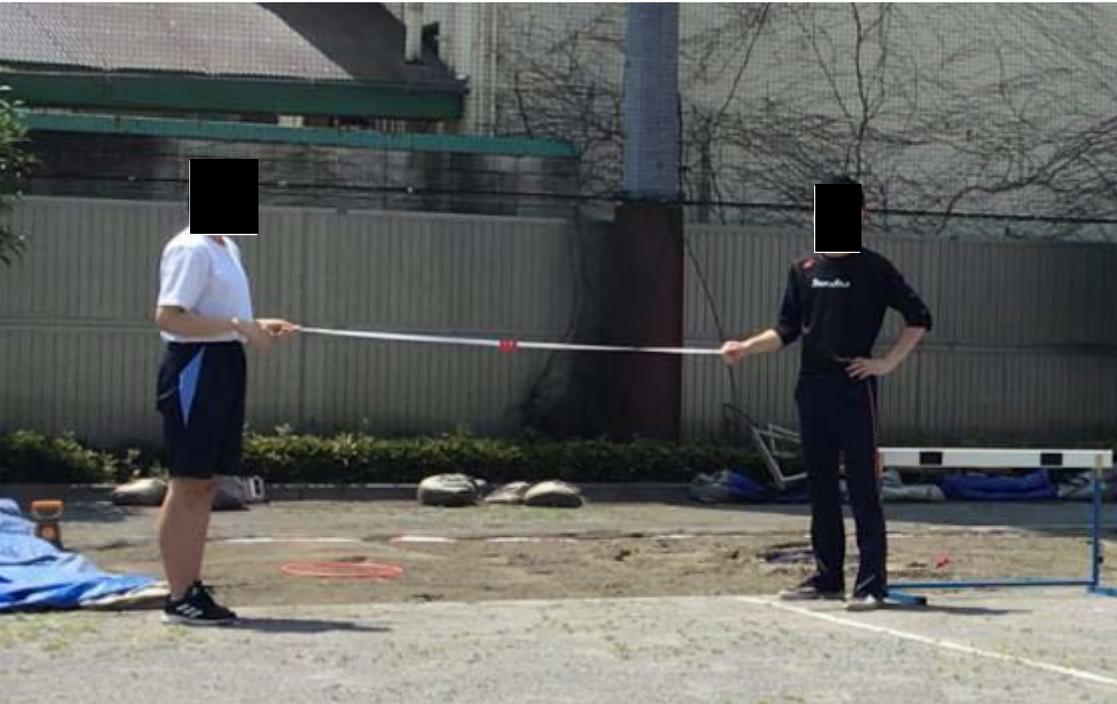
- ・木材の 1 本を半分に切断、写真の形になるよう釘で止める
- ・短い木の端に釘を打ち、ゴムを結ぶ
- ・長い木の端にハサミを設置、ラップの芯で発射物作成

【教材等の紹介：使い方例】

- ・ゴムにやりを引っ掛けて引っ張り、糸で固定し、ハサミで糸を切って発射する。
- ・5段階に高さを調節することができる。

保健体育

高等部 B 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 走り幅跳び 』	保健体育	高等部/B課程/2年生・Ⅳ、Ⅴコース
<p>【教材のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上に跳躍する意識を持たせる。 ・おへそを前に出せるようにする。 		
<p>【田島の学習段階表と学習指導要領から】</p> <p>知識及び技能【小学部2段階/ア/中学部2段階/C/ア/高等部1段階/C/ア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の支援を受けながら楽しく走、跳の基本的な運動をする。 ・陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けること。 ・陸上運動の特性に応じた技能を理解し、身に付ける。 <p>思考・判断・表現【小学部2段階/イ/中学部2段階/C/イ/高1段階/C/イ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走、跳の基本的な運動に慣れ、楽しさや感じたことを表現する。 ・課題解決のために友達と考えたり、工夫を他者に伝える。 ・課題解決のために工夫を仲間と考え、他者に伝える。 <p>学びに向かう力・人間性等【小学部2段階/イ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きまりを守り、自分から友達と仲良く楽しく走・跳の基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりすること。 		
<div style="text-align: center;">  <p>【 ゴム切幅跳び 】</p> </div>		
<p>【教材等の紹介：使い方例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤の印のところにおへそをもってくる。 ・生徒によって高さを変える。 ・ゴムだから痛くないので思い切り飛び出せる。 		

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 陸上競技「ハードル走」 』	保健体育	高等部/B課程/2年生・Ⅲ、Ⅳ、Ⅴコース
<p>【教材のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 恐怖心を軽減させ、一台目をリズム良く越えられるようにする 		
<p>【田島の段階表と学習指導要領から】</p> <p>知識及び技能 【小学部2段階/ア 中学部2段階/C/ア 高等部1段階/C/ア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハードル走の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身につける。 <p>思考・判断・表現【小学部2段階/ア/中2Cア/高1Cア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 走、跳の基本的な運動に慣れ、楽しさや感じたことを表現する。 ・ 課題解決のために友達と考えたり、工夫を他者に伝える。 ・ 課題解決のために工夫を仲間と考え、他者に伝える。 <p>学びに向かう力・人間性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること。 ・ 分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする事。 ・ 健康・安全に気を配ること。 		
<div style="text-align: center;">  <p>【 様々なハードル 】</p> </div>		
<p>【教材等の紹介：使い方例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ミニハードル：色々な高さのミニハードルがある。実態に応じて高さを変える。 ・ フレキハードル：当たっても痛くないので、ハードルを跳ぶことが怖い生徒が使用する。 		

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 ダンス 』	保健体育	高等部/B 課程/1年生・ABCグループ

【教材のねらい】

- ・自分を振り返り、課題発見ができるようにするため。
- ・他者のダンスを観察し、良いところや課題に気づき伝えられるようにするため。
- ・隊形移動に自分や友達の配置を確認するため。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部Ⅰ段階/G/ア】

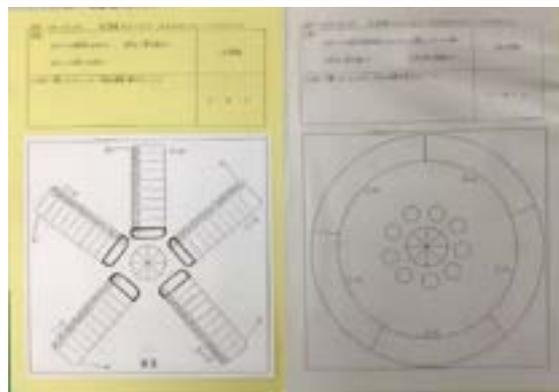
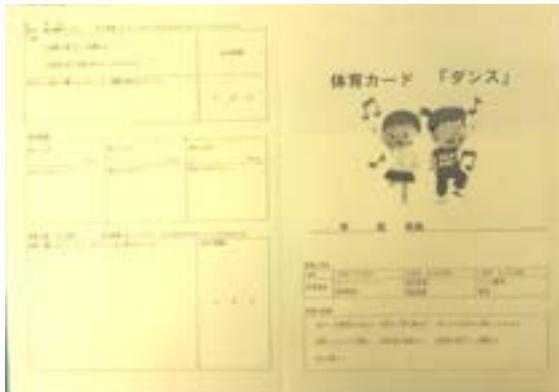
- ・ダンスの楽しさや喜びに触れ、基本的な動作や技能を身につけ、踊ることができる。

思考・判断・表現【中学部Ⅰ段階/G/イ】

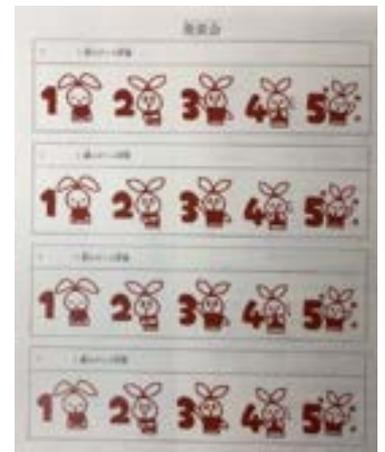
- ・ダンスについて自分や友達の課題を見つけ、解決のために工夫したり、考えを伝えたりすることができる。

学びに向かう力・人間性【中学部Ⅰ段階/G/ア】

- ・各種の運動に進んで取り組み、決まりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したり、最後まで楽しく運動をする態度を養う。



【 体育カード BCグループ 】



【 体育カード Aグループ 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・自分の学習の振り返り
- ・友達の良いところや課題発見
- ・隊形移動の視覚支援

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 陸上競技 』	保健体育	高等部/B 課程/2 年生・Ⅲ、Ⅳ、Ⅴコース

【教材のねらい】

- ・ターボジャブのような長い投擲物を投げるのが難しい生徒でも、投擲種目に近いような形で競技ができる。
- ・誰でも投げやすく、扱いやすい。
- ・きれいに投擲ができた時、音が鳴るのでわかりやすい。

【田島の段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部Ⅰ段階/C/A】

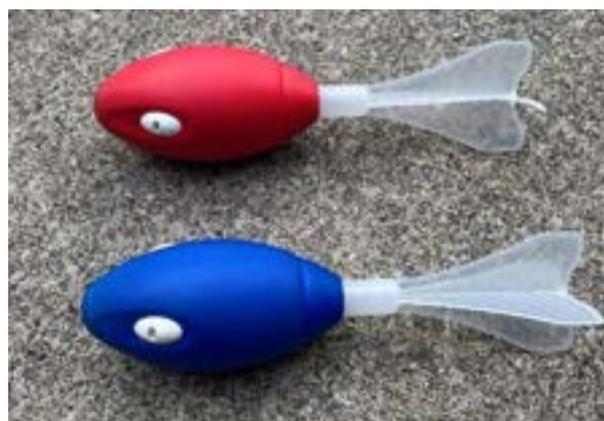
- ・陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けること

思考力、判断力、表現力【中学部Ⅰ段階/C/I】

- ・陸上運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。

学びに向かう力、人間性等【中学部Ⅰ段階/C/U】

- ・陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動すること。



【 ジャベボール 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・ジャベボールを写真のように持ち、斜め上に向かって投げる。
- ・きれいに投げる事ができた際は、「ピュー」と音になる。
- ・ボールのように投げる事ができるので飛距離に注意して投げる。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 走り高跳び 』	保健体育	高等部/B 課程/3年生・Ⅳ、Ⅴコース
<p>【教材のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り上げ足をバーより高く上げられるようにする。 ・ 目標物を足でタッチすることで足を上げる意識をさせる。 		
<p>【田島の学習段階表と学習指導要領から】</p> <p>知識及び技能【高等部Ⅰ段階/C/ア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けること。 <p>思考・判断・表現【高等部Ⅰ段階/C/イ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。 <p>学びに向かう力・人間性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすること。 		
 <p>【 ボール付き振り上げ棒 】</p>		
<p>【教材等の紹介：使い方例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トラバーにスズランテープでボールを付けて、生徒が足でタッチできるようにする。 ・ バーの少し上にボールを設置し、歩いて助走を行って振り上げ足でボールをタッチさせる。 ・ トラバーは教員が持って行き、ボールはバーの真ん中付近に設置する。 		

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 体づくり運動 』	保健体育	高等部/B課程/3年生・Ⅲ、Ⅳ、Ⅴコース

【教材のねらい】

- ・大縄に目印の赤テープをつけて見やすくする。
- ・目印（マーク）を置いて跳ぶ位置を視覚的に見えるようする。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【高等部Ⅰ段階/A/ア】

- ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすること。

思考・判断・表現【高等部Ⅰ段階/A/イ】

- ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。

学びに向かう力・人間性等【高等部Ⅰ段階/A/ウ】

- ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすること



大縄



ダブルダッチ縄



跳ぶ位置を示す目印（マーク）

【 大縄 ダブルダッチ縄 マーク 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・生徒が跳びやすいようゆっくり回すよう心がける。
- ・ダブルダッチについては余裕を持って跳んでいる生徒を選んで挑戦する。事前に逆回して縄に入れるかを練習する。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
走り幅跳び	保健体育	高等部/B課程/3年生・Ⅲ、Ⅳ、Ⅴコース

【教材のねらい】

- ・両足をそろえて着地ができる意識をもたせる。
- ・段差のあるところから、輪の中に入ることで、恐怖心を克服する。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【高等部Ⅰ段階/C/A】

- ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けること。

思考・判断・表現【高等部Ⅰ段階/C/I】

- ・陸上競技についての自分の課題を発見し、その解決のための方策を工夫する。

学びに向かう力・人間性等

- ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすること。



【 着地練習 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・跳び箱など段差のあるものを用意する。
- ・両足をそろえることができるように、輪を用意する。
- ・マットや柔らかくした砂場に着地をする。

その他

さくら分教室

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 選んで伝えよう 』	自立活動	小学部/B課程/3年生

【教材のねらい】

・学習内容を児童自身が選ぶことで、主体性をもって取り組む。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

・自立活動6コミュニケーション(2)言語の受容と表出に関すること



【 手順表 】

【素材・作り方等】

- ・児童が取り組んでいる課題を写真カードにして用意しました。
- ・児童のモチベーションにつなげるため、好きなキャラクターを用いました。
- ・破れないようにラミネートなどで補強をします。
- ・その日のコンディションで課題の量が変わるため、課題の数が3つ・4つ・5つのパターンを作りました。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・児童に本時の課題を一つずつ選ばせ、1から順に確認しながら貼っていく。
- ・児童自身が課題を選ぶことで、主体的に学習に取り組めるようにした。
- ・左側（白色）に未完了の課題カードを貼り、完了したら右側（緑色）に移動させる。

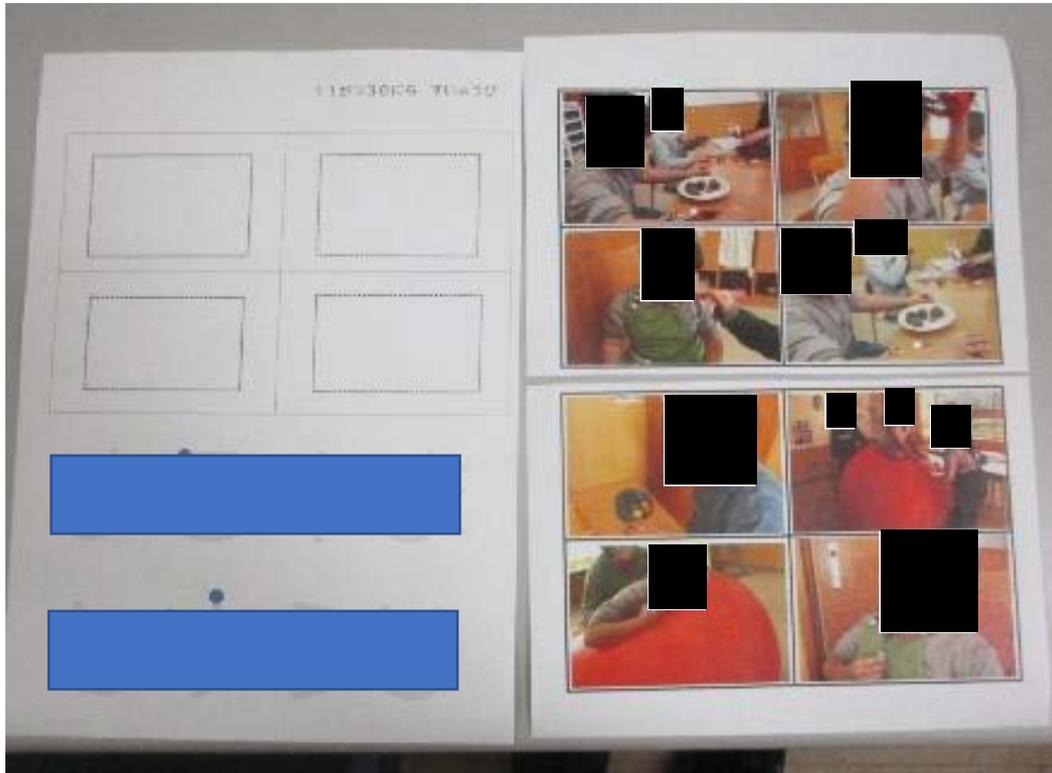
単元名	教科等	学部／課程／学年・学習グループ等
『 選んで伝えよう 』	自立活動	小学部/B課程/3年生

【教材のねらい】

- ・2 パターンの写真を用意することで、児童が気に入った写真を選ぶ。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

- ・自立活動6コミュニケーション(2)言語の受容と表出に関すること



【 写真日記 】

【素材・作り方等】

- ・ 1枚目に日にち、写真を貼るスペース（4枚分）、児童の名前をなぞり書きする平仮名を設けました。
- ・ 写真を貼るスペースには、のりの正しい使い方を学べるように点線でのり付けをする線を描きました。
- ・ 名前のなぞり書きの平仮名には、始点と終点を意識できるよう丸印を付けました。
- ・ 2枚目の写真は、4枚ずつ2パターン作成しました。できるだけ同じ活動場面の写真を4枚まとめるようにしました。

【教材等の紹介：使い方例】

- ・ 名前のなぞり書きをした後、声に出して自分の名前を言う練習をする。
- ・ 「体育でボール運動をした写真か、給食でハンバーグを食べたときの写真、どっちにする？」などと具体的に問いかけ、児童にどちらの4枚を使用するか選ばせる。
- ・ 児童が写真を選んだら、活動時のことを思い出せるような言葉かけをする。

その他

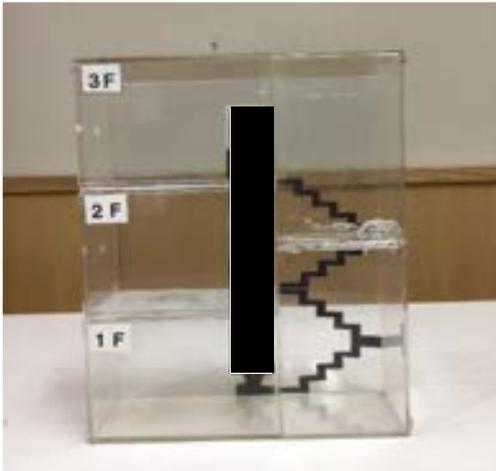
高等部 A 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『火災時の避難方法を知ろう！』	総合的な学習の時間	高等部/A 課程/1～3年生・Ⅰ、Ⅱコース

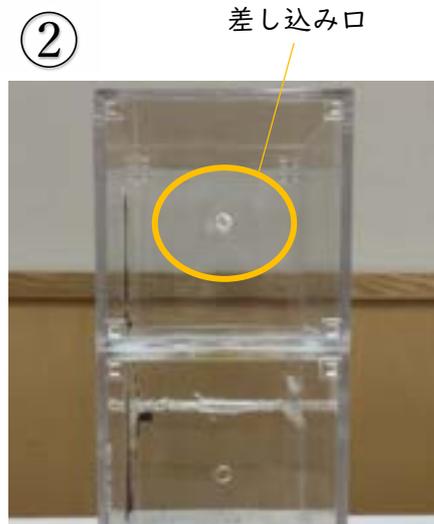
【教材のねらい】

・火災時の避難で、なぜ低い位置に向かって避難する必要があるのか、実際の煙の動きを見て理解する。

①



②



③

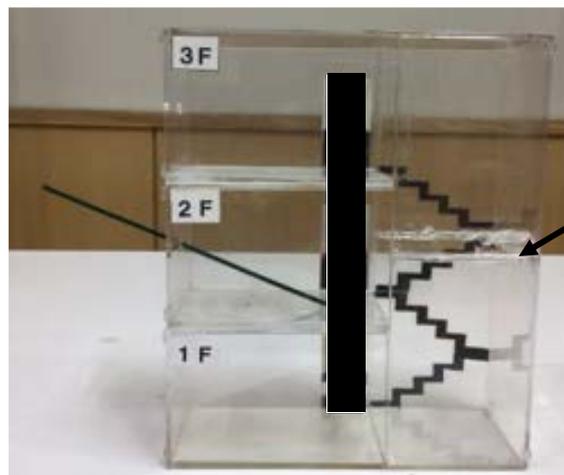


【○素材・□道具】

- クリアケース×5
- 線香
- ネームシール、写真など
- 錐
- ホットナイフ
- 接着剤

【作り方】

- ・クリアケースを接着剤で接着
- ・クリアケースの壁をホットナイフで切断 ※1
- ・錐で穴をあける



【教材等の紹介：使い方例】

- ・学校に見立てた模型に線香を入れると、煙がどう動くか確認できる。
- ・背景を黒にすることで、煙の動きがより鮮明にわかる。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『レクリエーション』	家庭	高等部/A課程/1～3年生・I、IIコース

【教材のねらい】

- ・ゲームを通して、みんなと楽しむ力を培う。
- ・どんな生徒でもある程度同じクオリティでゲームができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部Ⅰ段階/A/ウ/(イ)】

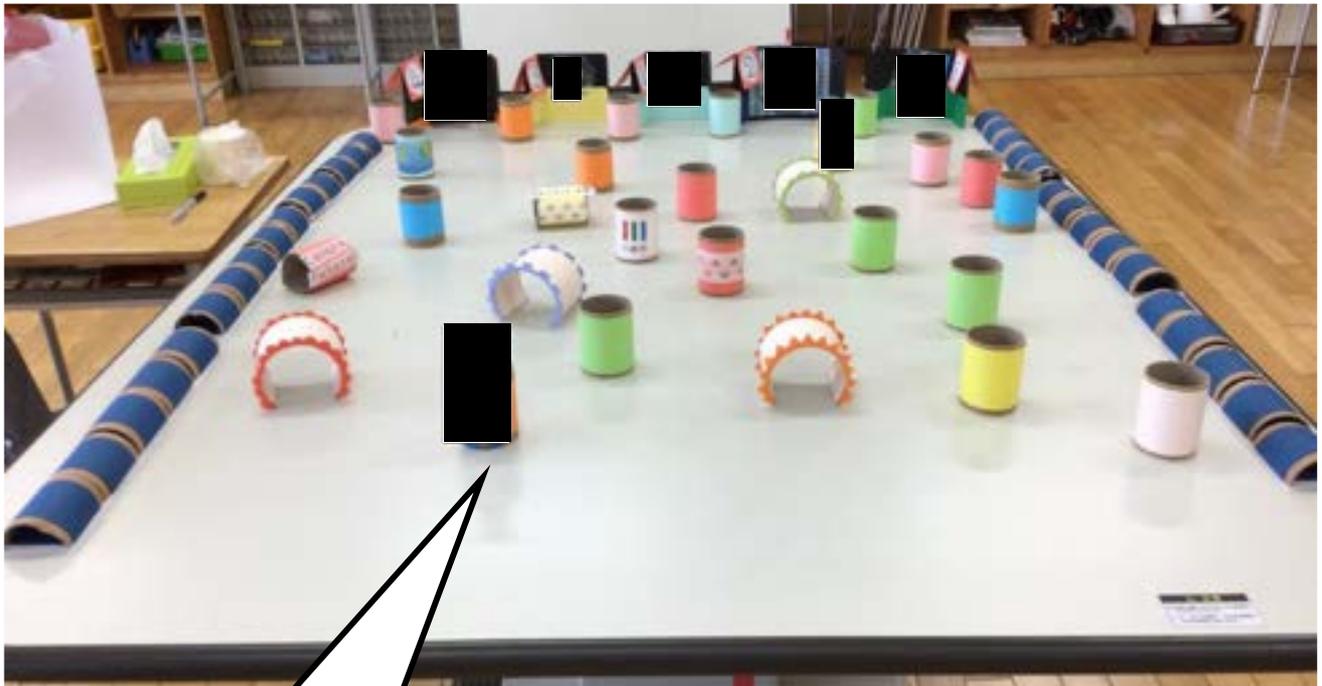
- ・望ましい生活環境や健康及び様々な余暇の過ごし方について気付き、工夫すること。

思考・判断・表現【中学部Ⅰ段階/A/ウ/(ア)】

- ・健康や様々な余暇の過ごし方について知り、実践しようとする事。

学びに向かう力・人間性【中学部Ⅰ段階/A】

- ・家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度



【 コロコロゲーム 】

【素材】

- ・食品包装用ラップフィルムやトイレットペーパーの芯の部分
 - ・画用紙を巻いて、色味を加える
- ※障害物は何でも大丈夫



【教材等の紹介：使い方例】

- ・ピンポン玉を転がして、得点BOXに入れる。
- ・テーブルに傾きをつけて、ピンポン玉を離すだけで転がるようにする。
- ・設置してある障害物は、自由に配置を変えてよい。

その他

高等部 B 課程

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『洗濯しよう』	家庭	高等部/B課程/3年生・Ⅲコース

【教材のねらい】

- ・洗濯で使用する道具や手順について知る。
- ・手順書を見て（教員と一緒に）タオルの洗濯ができる。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部Ⅰ段階/家庭分野/B/ウ/（ア）】

- ・場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り、実践しようとする事。

思考・判断・表現【中学部Ⅰ段階/家庭分野/B/ウ/（イ）】

- ・日常着の着方や手入れの仕方に気づき、工夫すること。

学びに向かう力・人間性

- ・家族や地域の人々とのやり取りを通して、より良い生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

せんたくをしよう！

せんたくでひつようなもの



せんたく

		
せんざい	おけ	みず
てびくろ	たおる	

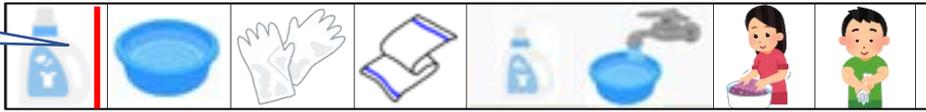
7が214が(むく)

せんたくのしかた

- ① どうくのじゅんび
- ② **みずとせんざいをいれる**
- ③ たおるをいれてごしごし 
- ④ よこれがおちたらたおるをしほる 



ミシン目を入れる



【 ワークシート 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・絵カードを自分で切り取り（ミシン目入り）、文字と同じ場所に貼る。
- ・使う道具や洗濯の工程の絵カードをワークシートに貼り、手順書を自分で作成する。
- ・できた手順書を見ながらタオルの洗濯をする。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 交通ルールを知ろう 』	社会	高等部/B課程/3年生・Ⅲコース

【教材のねらい】

- ・歩行者用信号機の色の意味を知る。
- ・横断歩道の渡り方を確認する。

【田島の学習段階表から】

知識及び技能【生活科/小学部Ⅰ段階/イ/(ア)】

- ・安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けること。

思考・判断・表現【生活科/小学部Ⅰ段階/イ/(イ)】

- ・身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすること。

学びに向かう力・人間性

- ・自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心を持ち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしようとする態度を養う。

7月4日(月) あうたんぼどうもわたろう

しんごうがまわになった！

①わあつてもいいとき

②とまるとき

しんごうがまわになった！

①みぎみて		①みぎみて	
②ひだりみて		②てもあげて	

わあつてもいいとき

【 ワークシート 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・横断歩道の渡り方動画を視聴したのち、渡り方を1工程ずつ確認する。
- ・進むとき、止まる時の正しい信号機の色を貼りつける。
- ・イラストを切り取り、文字があらわすイラストを貼る。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 フェルトでサンドイッチを作ろう 』	家庭	高等部/B 課程/2 年生・Ⅲコース

【教材のねらい】

- ・調理実習に向けて、必要な食材を知り、サンドイッチのイメージをもつ。
- ・好みの具材を選び、自分のサンドイッチをフェルトで表現する。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部 | 段階/家庭分野/B/イ (ア)】

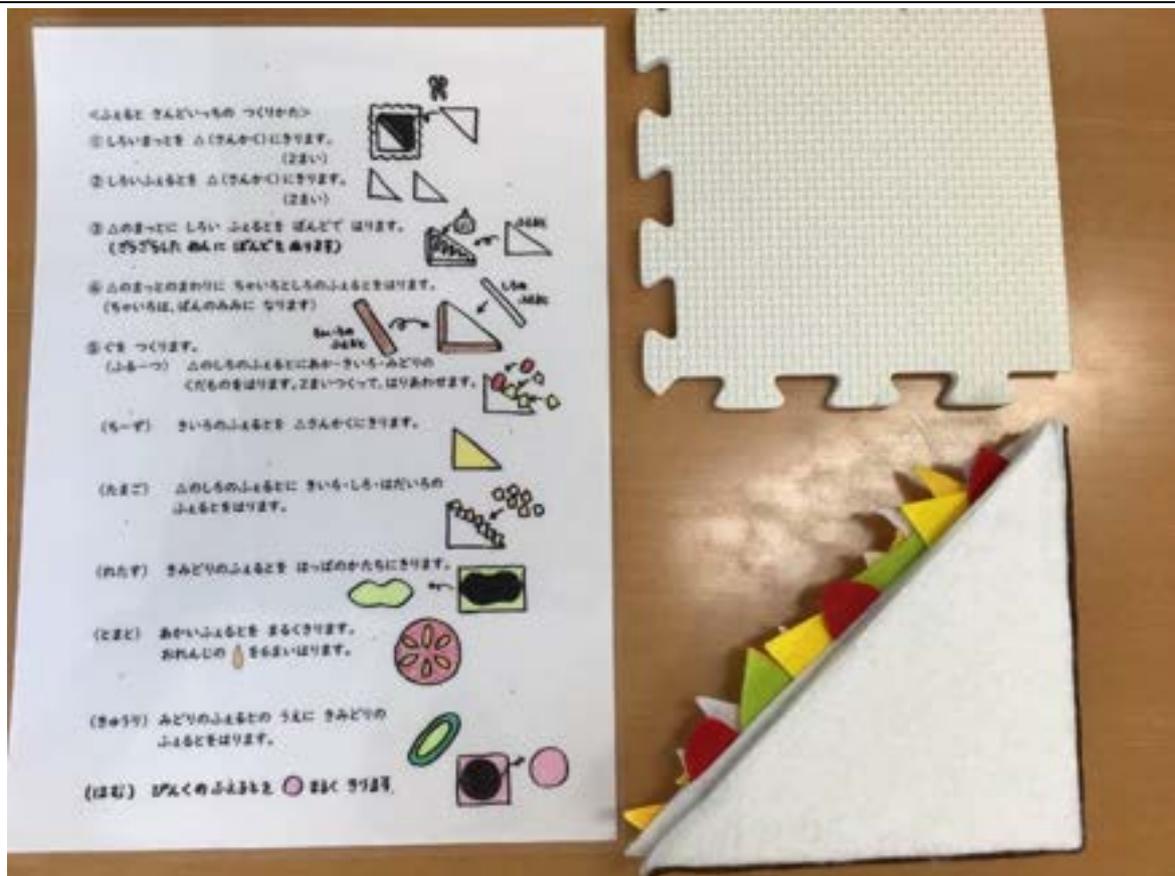
- ・様々な具材をパンで挟んでサンドイッチを作る過程を知る。

思考・判断・表現【中学部 | 段階/家庭分野/B/イ (イ)】

- ・サンドイッチの好みの具材について考え、フェルトで表現することができる。

学びに向かう力・人間性【中学部 | 段階/ウ】

- ・様々な具材作りに進んで取り組むことができたか。



【 手順書・作品 】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・サンドイッチの具材を考え、フェルトで作成させる。パンの部分は、100 円ショップのジョイントマットを使う。事前に厚紙で各具材の型紙を作っておき、それに合わせてフェルトを切る。グルーガンや木工用接着剤を使って各パーツを貼って完成させる。
- ・具材が完成したら、好みの具材を選び自分のサンドイッチを発表する。

単元名	教科等	学部/課程/学年・学習グループ等
『 献立を作ろう 』	家庭	高等部/B課程/3年生・IVコース

【教材のねらい】

- ・ 献立の基本的な立て方を知る。
- ・ 食材の栄養バランスを考える。

【田島の学習段階表と学習指導要領から】

知識及び技能【中学部2段階/家庭分野/B/イ/(ア)】

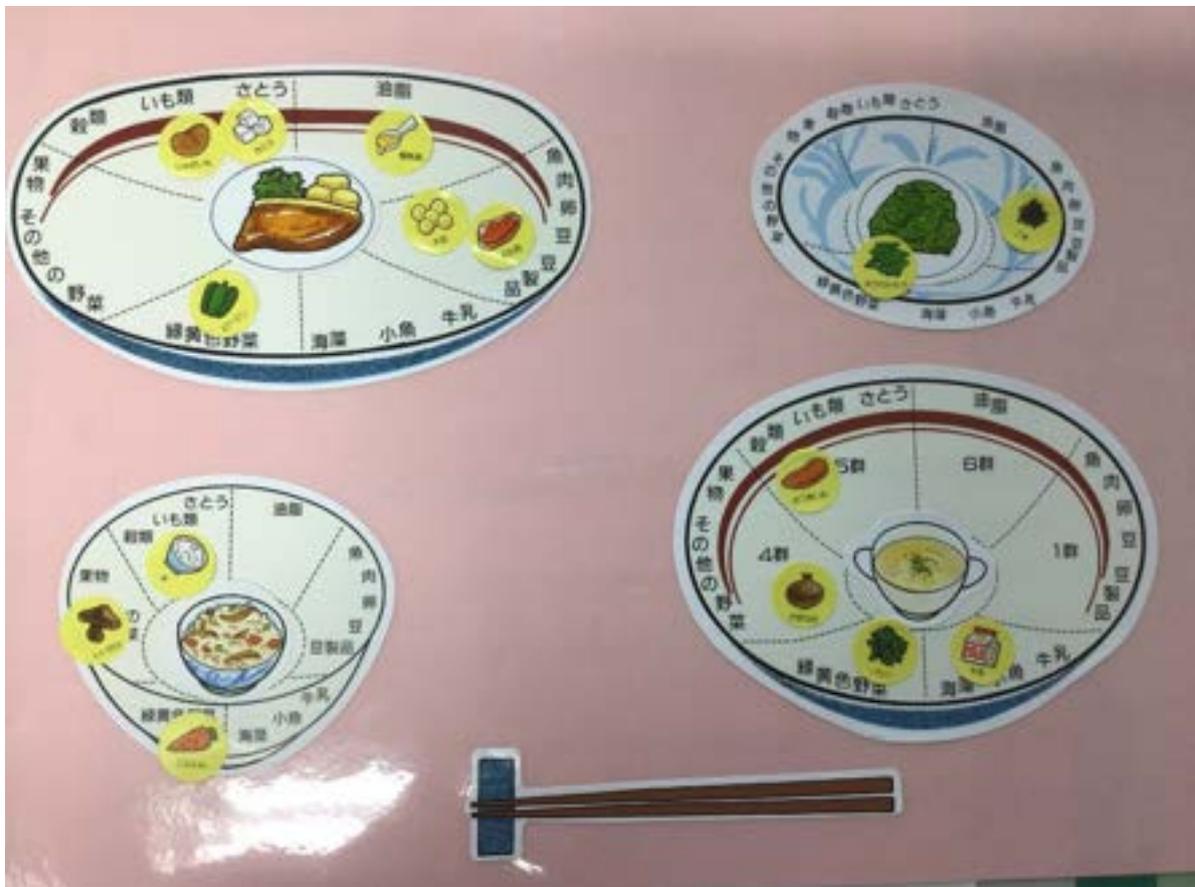
- ・ 身体に必要な栄養について関心をもち、理解し、実践すること。

思考・判断・表現【中学部2段階/家庭分野/B/イ/(イ)】

- ・ バランスのとれた食事について気づき、献立などを工夫すること。

学びに向かう力・人間性

- ・ 家族や地域の人々とのやり取りを通して、より良い生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。



【 食材シール (シールは貼ったり、はがしたりすることが可能)】

【教材等の紹介：使い方例】

- ・ 生徒に自由に夕食の献立を立てさせる。
- ・ 献立には主食、主菜、副菜など立て方が決まっていることを伝え、考えさせ直す。
- ・ メニューごとの材料を栄養素で分類し、バランスの良い献立を考える。

